

統合プログラム テーマ A 研究成果の発表状況 (FY 2017-2018)

概要

2017

研究発表件数 論文発表 52 件(投稿中 18 件) 著作物 5 件 学会発表 96 件

その他 アウトリーチ 20 件 プレスリリース 2 件 受賞等 3 件

2018

研究発表件数 論文発表 75 件(投稿中 16 件) 著作物 10 件 学会発表 150 件

その他 アウトリーチ 34 件 プレスリリース 5 件 受賞等 6 件

受賞

2017

1. 木村雄貴ほか, 2017 年度土木学会地球環境論文奨励賞「Event Attribution 実験を用いた 2012 年アマゾン川洪水の要因分析」
2. 小坂 優, 2017 年度日本気象学会正野賞「熱帯大気海洋結合変動がもたらす気候影響のメカニズムと予測可能性の研究」
3. 大野知紀, 2017 年度日本気象学会山本賞「熱帯低気圧の暖気核に関する力学的研究」

2018

1. 竹村俊彦, 平成 30 年度日本学士院学術奨励賞「エアロゾル気候モデルの開発とその気候変動および黄砂・PM2.5 分布予測などの大気環境研究への適用」
2. 竹村俊彦, 平成 30 年度日本学術振興会賞「エアロゾル気候モデルの開発とその気候変動および黄砂・PM2.5 分布予測などの大気環境研究への適用」
3. 芳村圭, 2018 年度日本気象学会堀内賞「観測とモデルによる同位体水文気象学に関する研究」
4. 近本善光, 2018 年度日本気象学会正野賞「10 年規模気候変動の予測技術開発と地球環境システム変動の予測可能性に関する研究」
5. 林未知也, 2018 年度日本気象学会山本賞「西風イベントとエルニーニョ・南方振動の相互作用に関する研究」
6. 神山翼, 2018 年度日本気象学会山本賞「温暖化強制に対する熱帯太平洋の海面水温応答に関する研究」

プレスリリース

2017

1. 地球温暖化が台風の活動と構造に及ぼす影響—強風域拡大の可能性を示唆—. 2017 年 9 月 14 日.
2. 大気中のチリが雲に与える影響を正確に再現—「京」を用いた高解像度の気候シミュレーション—. 2017 年 10 月 11 日.

ンー. 2018年3月13日.

2018

1. エルニーニョが台風の異常発生を引き起こす要因を解明 ～ポテトチップスの品薄はかくして起こった～. 2018年5月14日.
2. 下層雲が繋ぐ温暖化時の気温と降水量の変化. 2018年9月17日.
3. 潮の満ち引きと気候を繋ぐメカニズムをシミュレーションで解明—月の引力が地球温暖化までも左右する?—. 2018年10月12日.
4. 地球温暖化による穀物生産被害は過去30年間で平均すると世界全体で年間424億ドルと推定. 2018年12月11日.
5. 冬季ユーラシア大陸中緯度域における寒冷化の要因分析～北極海の海氷減少が寒冷化の約44%を説明～. 2019年1月15日.

国際プロジェクト等への参加

1. WCRP CLIVAR Detection and Attribution Project, Climate of the 20th Century Project 運営委員(塩竈)
2. WCRP CLIVAR ENSO Research Focus 委員(渡部)
3. WCRP CLIVAR Ocean Model Development Panel 委員(小室)
4. WCRP CLIVAR Pacific Region Panel 委員(2017年まで鈴木立, 2018年以降, 今田及び小坂)
5. WCRP Global Land/Atmosphere System Study Panel, Global Energy and Water Exchanges Project 運営委員(金)
6. WCRP Global Soil Wetness Project Phase 3 運営委員長(金)
7. WCRP Grand Challenge on Decadal Climate Prediction 運営委員(木本)
8. WCRP Grand Challenge on Cloud, Circulation, and Climate sensitivity 運営委員(渡部)
9. WCRP Working Group on Coupled Modeling 運営委員(渡部)
10. Cloud Feedback MIP 共同議長(渡部)
11. Decadal Climate Prediction Project 運営委員(木本)
12. Detection and Attribution MIP 共同議長(塩竈)
13. ESA-JAXA EarthCARE Joint Mission Advisory Group 運営委員(鈴木健)
14. High Resolution MIP 運営委員(木本)
15. IGAC Aerosol, Cloud, Precipitation, Climate 運営委員(鈴木健)
16. International Detection and Attribution Group 運営委員(塩竈)
17. Land Surface, Snow and Soil Moisture MIP 共同議長(金)
18. Ocean MIP 運営委員(小室)
19. Radiative Forcing MIP 運営委員(関口, 塩竈)
20. Research Advisory Committee for Indian Institute of Tropical Meteorology 委員(佐藤)

21. World Weather Attribution Program 運営委員 (塩竈)
22. Aerosols and Chemistry MIP 参加 (竹村)
23. African Monsoon Multidisciplinary Analysis Land surface MIP Phase 2 参加 (金)
24. Belmont Forum and JPI-Climate Collaborative Research Action on Climate Predictability and Inter-Regional Linkages Project 参加 (森)
25. Cloud Feedback MIP 参加 (小倉, 渡部)
26. CGILS SCM Intercomparison Phase 2 参加 (釜江)
27. Decadal Climate Prediction Project 参加 (建部, 望月)
28. Detection and Attribution MIP 参加 (塩竈)
29. DYnamics of the Atmospheric general circulation Modeled On Non-hydrostatic Domains (DYAMOND) 参加 (佐藤)
30. Extreme X Project 参加 (塩竈)
31. Flux Anomaly Forced MIP 参加 (鈴木立)
32. Global Monsoon MIP 参加 (渡部)
33. Greyzone MIP 参加 (野田)
34. High resolution MIP 参加 (羽角, 小玉)
35. Inter-Sectoral Impact MIP 参加 (金)
36. LS3MIP 参加 (金)
37. NOAA Model Diagnostics Task Force 参加 (鈴木健)
38. Ocean MIP 参加 (小室)
39. Partnership between Norway and Japan for excellent Education and Research in Weather and Climate Dynamics Project 参加 (森)
40. Radiative Convective Equilibrium MIP 参加 (佐藤, 大野)
41. Radiative Forcing MIP 参加 (関口, 塩竈)
42. Scenario MIP 参加 (建部)
43. 衛星観測シミュレータ COSP v2.0 動作検証への参加 (小倉)
44. 米国 ARM 観測データを利用した気候モデル性能評価への参加 (小倉)
45. 対流圏調節に対する陸面温暖化の寄与推定への協力 (小倉)
46. EU-FP7, EUCLEIA 協力 (塩竈)
47. The Half a degree of Additional warming; Projections, Prognosis and Impacts (HAPPI) Project への協力 (塩竈)

社会への還元(アウトリーチ活動)

2017

1. 佐藤正樹, 2018: 気象&台風研究 最前線! 次世代スパコン開発と共に目指す気象予測の高度化. EMIRA, 2018年1月17日.
2. 佐藤正樹, 2017: 温暖化で台風強風域が拡大=スパコン予測—海洋機構など, 時事通信, 2017年9月14日.
3. 佐藤正樹, 2017: 台風、地球温暖化で大型に スパコン「京」で予測. 福井新聞, 2017年9月14日.
4. 佐藤正樹, 2017: 地球温暖化で台風大型に 強風域拡大 東大チーム. 毎日新聞, 2017年9月16日.
5. 佐藤正樹, 2017: 地球温暖化で台風の強風域が外側に広がる. 科学技術振興機構 Science Portal, 2017年9月22日.
6. 小玉 知央, 2017: JAMSTEC 横浜研究所 施設一般公開 気軽に聞こう 立ち寄りセミナー「気候シミュレーション・雲・台風」. 2017年11月11日.
7. 山田洋平, 佐藤正樹, 杉正人, 小玉知央, 野田暁, 中野満寿男, 那須野智江, 2017: 猛威振るう『マリア』プエルトリコに上陸. テレビ朝日, 報道ステーション, 2017年9月22日 OA.
8. 山田洋平, 佐藤正樹, 杉正人, 小玉知央, 野田暁, 中野満寿男, 那須野智江, 2017: 台風強風域、温暖化で拡大. 日刊工業新聞, 2017年9月15日朝刊.
9. 山田洋平, 佐藤正樹, 杉正人, 小玉知央, 野田暁, 中野満寿男, 那須野智江, 2017: 台風、地球温暖化で大型に. 共同通信, 2017年9月14日公開 (オンライン)
10. 山田洋平, 佐藤正樹, 杉正人, 小玉知央, 野田暁, 中野満寿男, 那須野智江, 2017: 温暖化進めば台風2割拡大 スパコン「京」、今世紀末試算. 朝日新聞, 2017年9月15日朝刊.
11. 芳村圭, 2017: MEGA CRISIS 巨大危機Ⅱ第2集 異常気象・スーパー台風 予測不能の恐怖, NHK, 2017年9月9日 OA.
12. 芳村圭, 2017: 『蒸散』研究で地球の未来がわかる. 朝日小学生新聞, 2017年6月6日.
13. 芳村圭, 2017: 蒸散寄与率を解明. 日刊工業新聞, 2017年5月16日.
14. 鈴木健太郎, 2017: 黄砂やPM2.5 観測 JAXA 衛星「しきさい」公開記事にコメント. 朝日新聞デジタル, 2017年9月14日
15. 塩竈秀夫, 小倉知夫, 2017: 地球温暖化の予測と影響, 放送大学, 2017年5月30日.
16. 望月崇, 2017: 海洋環境 変動期へ. 八戸港 イカ不漁, イワシ豊漁, サバ小型化. デーリー東北, 2017年12月9日朝刊.
17. 渡部雅浩, 2017: Jのこだわり「異常気象2017」. テレビ朝日, スーパーJチャンネル, 2017年9月6日 OA.
18. 渡部雅浩, 2017: 論点 異常気象どうする. 毎日新聞, 2017年9月1日.
19. 渡部雅浩, 2017: 地球温暖化の加速と停滞:われわれはどこまで理解したか. 地球環境技術懇談会, 大阪科学技術センター, 2017年4月16日.
20. 建部洋晶, 2017: 地球温暖化と海の記憶. 第14回 地球環境シリーズ講演会「気候モデルは温暖化対策にどう貢献するか〜パリ協定の実現に向けて」. ヤクルトホール, 2017年8月7日.

2018

1. 小玉知央, 2019: 高解像度全球非静力学モデルを用いた台風の将来気候予測に関する研究, 平成30年度地球シミュレータ利用報告会, 品川, 2019年3月5日.
2. Suzuki, K., 2019: The atmospheric science view on climate-air pollution linkages. IGES Workshop on “How can Asia manage air pollution and climate change? From understanding impacts to implementing solutions”, Tokyo, Japan, 2019年2月19日.
3. 渡部雅浩, 2019: 異常気象と地球温暖化-最新の気候科学の知見から-. 朝日カルチャーセンター, 新宿住友ビル, 2019年1月26日.
4. 渡部雅浩, 2019: 「検証 列島災害」, 毎日新聞, 2019年1月19日朝刊.
5. 森正人, 2019: 「ユーラシア大陸寒冷化 北極海の水氷減原因」. 宮崎日日新聞. 2019年1月18日.
6. 今田由紀子, 2018: 「今夏の猛暑 スパコン分析「温暖化のせい」, 毎日新聞, 2018年12月29日.
7. 鈴木健太郎, 2018: 大気に浮かぶ水と気候-衛星観測とモデリング-, 大気海洋研究所気候システム研究系シンポジウム「気候研究の現状と展望」, 東京大学伊藤謝恩ホール, 2018年12月26日.
8. 渡部雅浩, 2018: 地球温暖化と異常気象〜われわれは今なにが出来るか〜. 大気海洋研究所気候システム研究系シンポジウム「気候研究の現状と展望」, 東京大学伊藤謝恩ホール, 2018年12月26日.

9. 渡部雅浩, 2018: 「平成の広島ふりかえり特番」, 中国広島放送, 2018年12月26日 OA.
10. 塩竈秀夫, 2018: 地球温暖化と異常気象:我々は今どこにいて、どこへ向かうのか. JR 東日本(講演), 東京, 2018年12月20日.
11. 渡部雅浩, 2018: 「今年の異常猛暑・西日本豪雨と温暖化の関係」, NHK おはよう日本, 2018年12月7日 OA.
12. 今田由紀子, 2018: イベント・アトリビューションの最前線—シミュレーションが描き出す異常気象と温暖化—. 東京都市大学環境学部/SPEED 研究会共催 特別セミナー「気候変動による影響評価の最前線 -近年の異常気象とCO₂の排出の因果関係はどこまでわかっているのか-」, 東京ビッグサイト, 2018年12月7日.
13. 塩竈秀夫, 2018: 地球温暖化と異常気象:我々は今どこにいて、どこへ向かうのか. 東京都市大学環境学部/SPEED 研究会共催 特別セミナー「気候変動による影響評価の最前線 -近年の異常気象とCO₂の排出の因果関係はどこまでわかっているのか-」, 東京ビッグサイト, 2018年12月7日.
14. 渡部雅浩, 2018: 「今後の猛暑日の傾向」, NHK おはよう日本, 2018年12月5日 OA.
15. 今田由紀子, 2018: 「2018年の猛暑、やっぱり温暖化のせい? (天気のみぞ)」, 日経オンライン. 2018年11月6日
16. 今田由紀子, 2018: 「個別の異常気象にも温暖化影響」, 日刊工業新聞, 2018年10月31日.
17. 釜江陽一, 2018: 気象学から見る全球規模の気候変動と豪雨との関係, 日本旅行医学会イブニングセミナー. 代々木研修室, 渋谷, 2018年10月26日.
18. 釜江陽一, 2018: 空前の雨 列島上空に「大気の川」. 中国新聞. 2018年10月24日.
19. 今田由紀子, 2018: シミュレーションが描き出す異常気象と温暖化, 第9回リスクメディアフォーラム「地球温暖化と異常気象:社会が求める情報はなにか?」, JAMSTEC 東京事務所, 2018年10月23日.
20. 芳村圭, 2018: 「数百メートル単位で危険性予測」, 日経コンストラクション, 2018年10月号.
21. 中野満寿男, 山田洋平, 2018: 「暴風高潮 恐怖の瞬間～台風から身を守るには～」. NHK 総合, クローズアップ現代+, 2018年9月10日 OA.
22. 渡部雅浩, 2018: 特集「灼熱現場」, 日経コンストラクション, 2018年9月号.
23. 山田洋平, 2018: 日本近海の海水温上昇強い勢力のまま列島へ. テレビ朝日, 羽鳥慎一モーニングショー, 2018年8月22日 OA.
24. 山田洋平, 2018: JAMSTEC 横浜研究所 休日開館 222 回公開セミナー「地球温暖化によって台風のサイズは変わるのか? ～高解像度モデルが示す台風の将来予測～」, 2018年8月18日.
25. 釜江陽一, 2018: 西日本豪雨時、列島上空に巨大な「水蒸気の川」. 読売新聞, 2018年8月17日夕刊.
26. 芳村圭, 2018: 「岡山・真備水害 予見されていた洪水被害」, 日経アーキテクチュア, 2018年8月号.
27. 渡部雅浩, 2018: 「豪雨発生 今世紀末倍増か」, 毎日新聞, 2018年7月25日朝刊.
28. 今田由紀子, 2018: 「個別の異常気象にも温暖化影響」, 毎日新聞, 2018年7月25日.
29. 森正人, 2018: 「豪雨被害、本県も可能性」. 宮崎日日新聞. 2018年7月23日.
30. 今田由紀子, 2018: 「猛暑、世界的な現象」, 日本経済新聞, 2018年7月22日.
31. 廣田渚郎, 2018: 気象変化 成層圏も関係!?, 日本経済新聞, 2018年7月8日朝刊.
32. 佐藤正樹, 2018: 台風の発生は予測できる?, Z 会季刊誌 Z3 (ゼットキューブ) の WEB 版インタビュー記事, 2018年7月4日.
33. 芳村圭, 2018: 「このままでいいの? “出せない” 天気予報」, NHK NEWS WEB, 2018年6月6日.
34. 那須野智江, 2018: 熱帯大気の2つの脈動を理解する— YMC 集中観測と全球雲解像数値シミュレーション—, JAMSTEC2018, 虎の門ヒルズフォーラム, 東京, 2018年4月26日

論文(印刷・受理済み)

2017

1. Chen, Y-W., T. Seiki, C. Kodama, M. Satoh, and A.T. Noda, 2018: Impact of precipitating ice hydrometeors on longwave radiative effect estimated by a global cloud-system resolving model. J. Adv. Model. Earth Syst., accepted, doi:10.1002/2017MS001180.
2. Frieler, K., and co-authors, 2017: Assessing the impacts of 1.5 °C global warming – simulation protocol of the Inter-Sectoral Impact Model Intercomparison Project (ISIMIP2b), Geosci. Model Dev., 10, 4321-4345, <https://doi.org/10.5194/gmd-10-4321-2017>.

3. Ham, Y. G, J. S. Kug, F.-F. Jin, and M. Watanabe, 2018: Inverse relationship between present-day tropical precipitation and its sensitivity to greenhouse warming. *Nature Climate Change*, 8, 64-69, doi:10.1038/s41558-017-0033-5.
4. Hirota, N., T. Ogura, H. Tatebe, H. Shiogama, M. Kimoto, and M. Watanabe, 2018: Roles of shallow convective moistening in the eastward propagation of the MJO. *J Climate*, in press.
5. Hirota, N., H. Shiogama, H. Akiyoshi, T. Ogura, M. Takahashi, Y. Kawatani, M. Kimoto, and M. Mori, 2018: The influences of El Nino and Arctic sea-ice on the unexpected disruption of the QBO in February 2016. *npj Climate and Atmospheric Science*, in press.
6. Hirota, N., M. Ohta, Y. Yamashita, and M. Takahashi, 2018: Roles of intraseasonal disturbances and diabatic heating in the East Asian Jet Stream variabilities associated with the East Asian winter monsoon. *J. Climate*, in press.
7. Hirsch, A. L., B. P. Guillod, S. I. Seneviratne, U. Beyerle, L. R. Boysen, V. Brovkin, E. L. Davin, J. C. Doelman, H. Kim, D. M. Mitchell, T. Nitta, H. Shiogama, S. Sparrow, E. Stehfest, D. P. van Vuuren, S. Wilson, 2018: Biogeophysical impacts of land use change on climate extremes in low emission scenarios: Results from HAPPI-Land. *Earth's Future*, in press.
8. Imada, Y., H. Shiogama, C. Takahashi, M. Watanabe, M. Mori, Y. Kamae, S. Maeda, 2017: Climate change increased the likelihood of the 2016 heat extremes in Asia. in *Explaining Extreme Events of 2016 from a Climate Perspective*, *Bulletin of the American Meteorological Society*, 98(12) S97-S101, doi:10.1175/BAMS-D-17-0109.1.
9. 板谷知明, 芳村圭, 2018: 深層学習を用いた水文気象場のダウンスケーリング手法の開発. *土木学会論文集 B1(水工学)*, 74.
10. Jing, X., K. Suzuki, H. Guo, D. Goto, T. Ogura, T. Koshiro, J. Mulmenstadt, 2017: A multi-model study on warm precipitation biases in global models compared to satellite observations. *J. Geophys. Res. Atmos.*, 122, doi:10.1002/2017JD027310.
11. Jing, X., H. Zhang, M. Satoh, and S. Zhao, 2017: Improve tropical cloud overlap representation in GCMs based on cloud-resolving model data. *J. Meteor. Res.*, doi:10.1007/s13351-018-7095-9.
12. Kamae, Y., H. Shiogama, Y. Imada, M. Mori, O. Arakawa, R. Mizuta, K. Yoshida, C. Takahashi, M. Arai, M. Ishii, M. Watanabe, M. Kimoto, S.-P. Xie, and H. Ueda, 2017: Forced response and internal variability of summer climate over western North America. *Clim. Dyn.*, 49, 403-417.
13. Kamae, Y., W. Mei, and S.-P. Xie, 2017: Climatological relationship between warm season atmospheric rivers and heavy rainfall over East Asia. *J. Meteor. Soc. Japan*, 95, 411-431.
14. Kamae, Y., W. Mei, S.-P. Xie, M. Naoi, and H. Ueda, 2017: Atmospheric rivers over the Northwestern Pacific: Climatology and interannual variability. *J. Climate*, 30, 5605-5619.
15. Kataoka, T., T. Tozuka, and T. Yamagata, 2017: Generation and Decay Mechanisms of Ningaloo Niño/Niña. *J. Geophys. Res. Atmos.*, 122, 8913-8932, doi:10.1002/2017JC012966.
16. Kinoshita, Y., M. Tanoue, S. Watanabe and Y. Hirabayashi, 2018: Quantifying the effect of autonomous adaptation to global river flood projections: application to future flood risk assessments, *Env. Res. Lett.*, 13 014006.
17. Kosaka, Y., 2018: Slow warming and the ocean seesaw. *Nature Geosci.*, 11, 12-13, doi: 10.1038/s41561-017-0038-8.
18. Miyakawa, T., H. Yashiro, T. Suzuki, H. Tatebe, and M. Satoh, 2017: A Madden-Julian Oscillation event remotely accelerates ocean upwelling to abruptly terminate the 1997/1998 super El-Nino, *Geophys. Res. Lett.*, 44, 9489-9495, doi: 10.1002/2017GL074683.
19. Mizuta, R., A. Murata, M. Ishii, H. Shiogama, K. Hibino, N. Mori, O. Arakawa, Y. Imada, K. Yoshida, T. Aoyagi, H. Kawase, M. Mori, Y. Okada, T. Shimura, T. Nagatomo, M. Ikeda, H. Endo, M. Nosaka, M. Arai, C. Takahashi, K. Tanaka, T. Takemi, Y. Tachikawa, K. Temur, Y. Kamae, M. Watanabe, H. Sasaki, A. Kitoh, I. Takayabu, E. Nakakita, and M. Kimoto, 2017: Over 5000 years of ensemble future climate simulations by 60 km global and 20 km regional atmospheric models. *Bull. Amer. Meteor. Soc.*, 98, 1383-1398.
20. 森下慧, 田上雅浩, 岡田将誌, 肱岡靖明, 平林由希子, 2018: 灌漑による干ばつ時の穀物生産損失の低減効果とその費用に関する推計. *土木学会論文集 B1(水工学)*, 74.

21. 森山文晶, 芳村圭, 筆保弘徳, 2018: 筆保弘徳、領域大気海洋結合モデルの不確実性の検証. 土木学会論文集 B1(水工学), 74.
22. Nitta, T., K. Yoshimura, and A. Abe-Ouchi, 2017: Impact of arctic wetlands on the climate system: Model sensitivity simulations with the MIROC5 AGCM and a wetland scheme, *J. Hydrometeor.*, doi:10.1175/JHM-D-16-0105.1.
23. 野本大輔, 芳村圭, 2017: 平成 27 年関東・東北豪雨時のつくば市真瀬における水蒸気同位体比時間変動の決定要因に関する研究. 土木学会論文集 G(環境), 地球環境研究論文集.
24. Ogura, T., Shiogama, H., Watanabe, M., Yoshimori, M., Yokohata, T., Annan, J. D., Hargreaves, J. C., Ushigami, N., Hirota, K., Someya, Y., Kamae, Y., Tatebe, H., and Kimoto, M., 2017: Effectiveness and limitations of parameter tuning in reducing biases of top-of-atmosphere radiation and clouds in MIROC version 5, *Geosci. Model Dev.*, 10, 4647-4664, doi:10.5194/gmd-10-4647-2017.
25. Okajima, S., H. Nakamura, T. Miyasaka, K. Nishii, A. K. Yoshida, B. Taguchi. M. Mori, Y. Kosaka, 2017: Mechanisms for the maintenance of wintertime basin-scale atmospheric response to decadal SST variability in the North Pacific subarctic frontal zone. *J. Climate*, doi:10.1175/JCLI-D-17-0200.1.
26. Okazaki, A. and K. Yoshimura, Development and evaluation of a system of proxy data assimilation for paleoclimate reconstruction, *Clim. Past*, doi:10.5194/cp-2016-12, 2017.
27. Angelil, O., D. Stone, S. Perkins-Kirkpatrick, L. Alexander, M. Wehner, H. Shiogama, P. Wolski, A. Ciavarella, and N. Christidis, 2017: On the nonlinearity of spatial scales in extreme weather attribution statements. *Climate Dynamics*, doi:10.1007/s00382-017-3768-9.
28. Ono, J., H. Tatebe, Y. Komuro, M.I. Nodzu, and M. Ishii, 2018: Mechanisms influencing seasonal-to-interannual prediction skill of sea ice extent in the Arctic Ocean in MIROC. *The Cryosphere*, in press.
29. Park, K. J., K. Yoshimura, H. Kim, and T. Oki, 2017: Chronological development of terrestrial mean precipitation, *Bull. Amer. Meteor. Soc.*, doi:10.1175/BAMS-D-16-0005.1.
30. Ramzan, M., S. Ham, M. Amjad, E.-C. Chang and K. Yoshimura, Sensitivity evaluation of spectral nudging schemes in historical dynamical downscaling for South Asia, *Advances in Meteorology*, doi:10.1155/2017/7560818, 2017.
31. Roh, W., and M. Satoh, 2018: Extension of a multisensor satellite radiance-based evaluation for cloud system resolving models. *J. Meteor. Soc. Japan*, 96, doi:10.2151/jmsj.2018-002.
32. Paik, S., S.-K. Min, Y.-H. Kim, B.-M. Kim, H. Shiogama, and J. Heo, 2017: Attributing Causes of 2015 Record Minimum Sea-Ice Extent in the Sea of Okhotsk. *J. Climate*, 30, 4693-4703.
33. Ma, S., T. Zhou, O. Angelil, and H. Shiogama, 2017: Increased Chances of Drought in Southeastern Periphery of the Tibetan Plateau Induced by Anthropogenic Warming. *J. Climate*, 30, 6543-6560.
34. Siler, N., Y. Kosaka, S.-P. Xie, and X. Li, 2017: Tropical ocean contributions to California's surprisingly dry El Niño of 2015-16. *J. Climate*, 30, 10067-10079. doi: 10.1175/JCLI-D-17-0177.1.
35. Srinivas, G., J. S. Chowdary, Y. Kosaka, C. Gnanaseelan, A. Parekh, K.V.S.R. Prasad, 2018: Influence of the Pacific-Japan Pattern on Indian summer monsoon rainfall. *J. Climate*, in press.
36. Suzuki T, D. Yamazaki, H. Tsujino, Y. Komuro, H. Nakano, S. Urakawa, 2017: A dataset of continental river discharge based on JRA-55 for use in a global ocean circulation model. *J. Oceanogr.*, doi:10.1007/s10872-017-0458-5.
37. Takahashi, C., M. Mori, and M. Watanabe, 2017: Significant aerosol influence on the recent decadal decrease in tropical cyclone activity over the western North Pacific. *Geophys. Res. Lett.*, 44, 9496-9504, doi:10.1002/2017GL075369.
38. Takano, K. T., K. Hibino, A. Numata, M. Oguro, M. Aiba, H. Shiogama, I. Takayabu, and T. Nakashizuka, 2017: Detecting latitudinal and altitudinal expansion of invasive bamboo *Phyllostachys edulis* and *P. bambusoides* (Poaceae) in Japan to project potential habitats under 1.5°C–4.0°C global warming. *Ecology and Evolution*, doi:10.1002/ece3.3471.
39. Tanoue, M., K. Ichianagi, K. Yoshimura, J. Shimada, and Y. Hirabayashi, 2017: Estimation of the isotopic composition and origins of winter precipitation over Japan using a regional isotope circulation model. *J. Geophys. Res. Atmos.*, doi:10.1002/2017JD026751.

40. Tatebe, H, M. Kurogi, and H. Hasumi, 2017: Atmospheric responses and feedback to the meridional ocean heat transport in the North Pacific. *J. Climate*, 30, 5715-5728.
41. 建部洋晶, 長船哲史, 2018: 太平洋数十年規模気候変動と海洋潮汐 18.6 年周期変動との関連性, *海の研究*, 27 (1), 3-18.
42. Toride, K., P. Neluwala, H.J. Kim, and K. Yoshimura (cor.), 2017: Feasibility Study of the Reconstruction of Historical Weather with Data Assimilation. *Mon. Wea. Rev.*, doi:10.1175/MWR-D-16-0288.1.
43. Tsushima, Y., F. Brient, S. A. Klein, D. Konsta, C. Nam, X. Qu, K. D. Williams, S. C. Sherwood, K. Suzuki, and M. D. Zelinka, 2017: The Cloud Feedback Intercomparison Project (CFMIP) Diagnostics Code Catalogue – metrics, diagnostics and methodologies to evaluate, understand and improve the representation of clouds and cloud feedbacks in climate models. *Geosci. Model. Dev.*, 10, 4285-4305, doi:10.5194/gmd-10-4285-2017.
44. Uchida, J., M. Mori, M. Hara, M. Satoh, D. Goto, T. Kataoka, K. Suzuki, and T. Nakajima, 2017: Impact of lateral boundary errors on the simulation of clouds with a non-hydrostatic regional climate model. *Mon. Wea. Rev.* 145, 5059-5082, doi:10.1175/MWR-D-17-0158.1.
45. Wehner, M., D. Stone, D. Mitchell, H. Shioyama, E. Fischer, L. S. Graff, V. V. Kharin, L. Lierhammer, B. Sanderson, and H. Krishnan, 2018: AChanges in extremely hot days under stabilized 1.5°C and 2.0°C global warming scenarios as simulated by the HAPPI multi-model ensemble. *Earth System Dynamics*, in press.
46. Wei, Z., K. Yoshimura, L. Wang, D. Miralles, S. Jasechko, X. Lee, Revisiting the contribution of transpiration to global terrestrial evapotranspiration, *Geophys. Res. Lett.*, doi:10.1002/2016GL072235, 2017.
47. Wing, A. A., K. A. Reed, M. Satoh, B. Stevens, S. Bony, and T. Ohno, 2018: Radiative-Convective Equilibrium Model Intercomparison Project. *Geosci. Model Dev.*
48. 藪優太郎, 芳村圭, Hyungjun KIM, 新田友子, 嶋野美佐子, 石塚悠太, 向田清峻, 可知美佐子, 沖大幹, 2017: 1km 解像度陸面モデルによる河川流量の検証. *土木学会論文集 G(環境)*, 地球環境研究論文集.
49. Yamada, Y., M. Satoh, M. Sugi, C. Kodama, A. T. Noda, M. Nakano, and T. Nasuno, 2017: Response of tropical cyclone activity and structure to global warming in a high-resolution global nonhydrostatic model. *J. Climate*, 30, 9703-9724, doi:10.1175/JCLI-D-17-0068.1.
50. Yoshimori, M., A. Abe-Ouch, H. Tatebe, T. Nozawa, and A. Oka, 2018: The importance of ocean dynamical feedback for understanding the impact of mid-high latitude warming on tropical precipitation change. *J. Climate*, in press.
51. 芳村圭, 新田友子, 石塚悠太, 多田真嵩, 鈴木健太郎, 竹村俊彦, 2018: 短寿命気候汚染物質による陸域水循環への影響. *土木学会論文集 B1(水工学)*, 74.
52. Yousuke Sato, Daisuke Goto, Takuro Michibata, Kentaroh Suzuki, Toshihiko Takemura, Hirofumi Tomita, and Teruyuki Nakajima, "Aerosol effects on cloud water amounts were successfully simulated by a global cloud-system resolving model", *Nature Communications*, doi: 10.1038/s41467-018-03379-6

2018

1. Arakawa, T., T. Inoue, H. Yashiro, and M. Satoh, 2018: Coupling Library Jcup3: Its philosophy and application. *Geosci. Model Dev. Discuss.*, <https://doi.org/10.5194/gmd-2018-147>.
2. Baker, H., R. Millar, D. Karoly, U. Beyerle, B. Guillod, D. Mitchell, H. Shioyama, S. Sparrow, T. Woollings, M. Allen, 2018: Higher CO₂ concentrations increase extreme event risk in a 1.5°C world. *Nature Climate Change*, 8, 604–608.
3. Boulange, J, N Hanasaki, T Veldkamp, H Shioyama, J Schewe, 2018: Magnitude and robustness associated with the climate change impacts on global hydrological variables for transient and stabilized climate states. *Environ. Res. Lett.*, 13, 064017.
4. Chadwick, R., D. Ackerley, D. Dommenges, and T. Ogura, 2019: Separating the influences of land warming, the direct CO₂ effect, the plant physiological effect and SST warming on regional precipitation changes, *J. Geophys. Res* in press.
5. Chen, Y-W., T. Seiki, C. Kodama, M. Satoh, A. T. Noda, 2018: Impact of precipitating ice hydrometeors on longwave radiative effect estimated by a global cloud-system resolving model. *J. Adv. Model. Earth Syst.*, 10, 284-296, <https://doi.org/10.1002/2017MS001180>.

6. Duan, W., N. Hanasaki, H. Shiogama, Y. Chen, S. Zou, D. Nover, B. Zhou and Y. Wang, 2019: Evaluation and Future Projection of Chinese Precipitation Extremes using Large Ensemble High-Resolution Climate Simulations. *J. Climate*, accepted.
7. Fujita, M., T. Sato, T. J. Yamada, S. Kawazoe, M. Nakano, and K. Ito, 2019: Analyses of extreme precipitation associated with the Kinugawa River flood in September 2015 using a large ensemble downscaling experiment. *J. Meteor. Soc. Japan*, 97, doi:10.2151/jmsj.2019-022.
8. 井田寛子, 芳村圭, 沖大幹, 2018: 生物季節と地球温暖化～サクラ開花への影響～, *土木学会論文集 B1(水工学)*, 74, No.5, I_31-I_36.
9. Ham, Y. G, J. S. Kug, F.-F. Jin, and M. Watanabe, 2018: Inverse relationship between present-day tropical precipitation and its sensitivity to greenhouse warming. *Nature Climate Change*, 8, 64-69, doi:10.1038/s41558-017-0033-5.
10. Hirota, N., T. Ogura, H. Tatebe, H. Shiogama, M. Kimoto, M. Watanabe, 2018: Roles of shallow convective moistening in the eastward propagation of the MJO. *J Climate*, 31, 3033-3047.
11. Hirota, N., H. Shiogama, H. Akiyoshi, T. Ogura, M. Takahashi, Y. Kawatani, M. Kimoto, and M. Mori, 2018: The influences of El Nino and Arctic sea-ice on the unexpected disruption of the QBO in February 2016. *npj Climate and Atmospheric Science*, 1, Article number: 10. doi:10.1038/s41612-018-0020-1.
12. Hirsch, A. L., B. P. Guillod, S. I. Seneviratne, U. Beyerle, L. R. Boysen, V. Brovkin, E. L. Davin, J. C. Doelman, H. Kim, D. M. Mitchell, T. Nitta, H. Shiogama, S. Sparrow, E. Stehfest, D. P. van Vuuren, and S. Wilson, 2018: Biogeophysical Impacts of Land-Use Change on Climate Extremes in Low-Emission Scenarios: Results From HAPPI-Land, *Earth's Future*, 6. <https://doi.org/10.1002/2017EF000744>.
13. Iizumi, T., H. Shiogama, Y. Imada, N. Hanasaki, H. Takikawa and M. Nishimori, 2018: Crop production losses associated with anthropogenic climate change for 1981–2010 compared with preindustrial levels. *International Journal of Climatology*, DOI: 10.1002/joc.5818.
14. Ishijima, K., M. Takigawa, Y. Yamashita, H. Yashiro, C. Kodama, M. Satoh, K. Tsuboi, H. Matsueda, Y. Niwa, S. Hirao, 2018: Analysis of high radon-222 concentration events using multi-horizontal-resolution NICAM simulations. *SOLA*, 14, 111-115, <https://doi.org/10.2151/sola.2018-019>.
15. Jing, X., and K. Suzuki, 2018: The impact of process-based warm rain constraints on the aerosol indirect effect. *Geophys. Res. Lett.*, 45, doi:10.1029/2018GL079956.
16. Jinno, T., T. Miyakawa, M. Satoh, 2019: NICAM predictability of the monsoon gyre over the western North Pacific during August 2016. *J. Meteor. Soc. Japan*, 97, doi:10.2151/jmsj.2019-017.
17. Johnson, N. C., S.-P. Xie, Y. Kosaka and X. Li, 2018: Increasing occurrence of cold and warm extremes during the recent global warming slowdown. *Nature Comm.*, 9, 1724. <https://doi.org/10.1038/s41467-018-04040-y>.
18. Johnson, Z. F., Y. Chikamoto, J.-J. Luo, T. Mochizuki, 2018: Ocean impacts on Australian interannual to decadal precipitation variability, *Climate*, 6, doi:10.3390/cli6030061.
19. Kataoka, T., S. Masson, T. Izumo, T. Tozuka and T. Yamagata, 2018: Can Ningaloo Niño develop without El Niño-Southern Oscillation? *Geophys. Res. Lett.*, 45, 7040-7048. doi: 10.1029/2018GL078188.
20. Kamae, Y., R. Chadwick, D. Ackerley, M. Ringer, and T. Ogura, 2018: Seasonally variant low cloud adjustment over cool oceans. *Clim. Dyn.*, doi:10.1007/s00382-018-4478-7.
21. Kim, Y.-H., S.-K. Min, D.A. Stone, H. Shiogama, P. Wolski, 2018: Multi-model event attribution of the summer 2013 heat wave in Korea. *Weather and Climate Extremes*, 20, 33-44.
22. Kodama, C., A. Kuwano-Yoshida, S. Watanabe, T. Doi, H. Kashimura, and T. Nasuno, 2018: JAMSTEC Model Intercomparison Project (JMIP), JAMSTEC Report of Research and Development.
23. 小玉知央, 渡辺真吾, 那須野智江, 佐藤正樹, 久保川陽呂鎮, 2018: 大気重力波と熱帯対流を陽に解く中層大気モデルを用いたシミュレーション. *HPCI 利用研究成果集*, 3, 1-6.
24. Kohyama, T., D. L. Hartmann, and D. S. Battisti, 2018: Weakening of nonlinear ENSO under global warming, *Geophys. Res. Lett.*, 45, 8557-8567. doi: 10.1029/2018GL079085.
25. Kotsuki S., K. Terasaki, K. Kanemaru, M. Satoh, T. Kubota and T. Miyoshi, 2019: Predictability of Record-Breaking Rainfall in Japan in July 2018: Ensemble Forecast Experiments with the Near-real-time Global Atmospheric Data Assimilation System NEXRA. *SOLA*, <https://doi.org/10.2151/sola.15A-001>.

26. Kotsuki, S., Terasaki, K., Yashiro, H., Tomita, H., Satoh, M., Miyoshi, T., 2018: Online Model Parameter Estimation with Ensemble Data Assimilation in the Real Global Atmosphere: A Case with the Nonhydrostatic Icosahedral Atmospheric Model (NICAM) and the Global Satellite Mapping of Precipitation Data. *J. Geophys. Res. Atmosphere*, 123, 7375-7392, <https://doi.org/10.1029/2017JD028092>.
27. Krinner, G., and co-authors, 2018: ESM-SnowMIP: assessing snow models and quantifying snow-related climate feedbacks, *Geosci. Model Dev.*, 11, 5027-5049, <https://doi.org/10.5194/gmd-11-5027-2018>.
28. Lee D., S-K Min, E Fischer, H Shiogama, I Bethke, L Lierhammer, J. F. Scinocca, 2018: Impacts of half a degree additional warming on the Asian summer monsoon rainfall characteristics. *Environ. Res. Lett.*, 13, 044033.
29. Li, C., C. Michel, L. S. Graff, I. Bethke, G. Zappa, T. J. Bracegirdle, E Fischer, B Harvey, T Iversen, M. P. King, H Krishnan, L Lierhammer, D Mitchell, J Scinocca, H Shiogama, D. A. Stone, J.J. Wettstein, 2018: Midlatitude atmospheric circulation responses under 1.5°C and 2.0°C warming and implications for regional impacts. *Earth System Dynamics*, 9, 359-382, <https://doi.org/10.5194/esd-9-359-2018>.
30. Liu, W., F. Sun, W. H. Lim, J. Zhang, H. Wang, H. Shiogama, Y. Zhang, 2018: Global drought and severe drought-affected populations in 1.5 and 2 °C warmer worlds. *Earth System Dynamics*, 9, 267-283.
31. Liu, W., W. H. Lim, F. Sun, D. Mitchell, H. Wang, D. Chen, I. Bethke, H. Shiogama and E. Fischer, 2018: Global freshwater availability below normal conditions and population impact under 1.5 and 2°C stabilization scenarios. *Geophysical Research Letters*, 45. <https://doi.org/10.1029/2018GL078789>.
32. Madakumbura, D. G., H. Kim, N. Utsumi, H. Shiogama, E. M. Fischer, Ø. Seland, J. F. Scinocca, D. M. Mitchell, Y. Hirabayashi and T. Oki, 2019: Event-to-event intensification of the hydrologic cycle in 1.5°C and 2°C warmer worlds, *Scientific Reports*, accepted (doi:10.1038/s41598-019-39936-2).
33. Matsuoka, D., M. Nakano, D. Sugiyama, and S. Uchida, 2018: Deep learning approach for detecting tropical cyclones and their precursors in the simulation by a cloud-resolving global nonhydrostatic atmospheric model. *Prog. Earth Planet. Sci.*, 5:80, doi:10.1186/s40645-018-0245-y.
34. McCoy, D. T., P. R. Field, G. S. Elsaesser, A. Bodas-Salcedo, B. H. Kahn, M. D. Zelinka, C. Kodama, T. Mauritsen, B. Vanniere, M. Roberts, P. L. Vidale, D. Saint-Martin, A. Voldoire, R. Haarsma, A. Hill, B. Shipway, and J. Wilkinson, 2019: Cloud feedbacks in extratropical cyclones: insight from long-term satellite data and high-resolution global simulations, *Atmos. Chem. Phys.*, 19, 1147-1172.
35. Midhun M, Lekshmy PR, Ramesh R, K. Yoshimura, Sandeep KK, S. Kumar, R. Sinha, A. Singh and S. Srivastava, 2018: The effect of monsoon circulation on the stable isotopic composition of rainfall, *J. Geophys. Res. Atmos*, 123, 5205-5221, <https://doi.org/10.1029/2017JD027427>.
36. Mitchell, D., C. Heaviside, N. Schaller, M. Allen, K. L. Ebi, E. Fischer, A. Gasparri, L. Harrington, V. Kharin, H. Shiogama, J. Sillmann, S. Sippel, and S. Vardoulakis, 2018: Extreme heat-related mortality avoided under Paris Agreement goals. *Nature Climate Change*, <https://doi.org/10.1038/s41558-018-0210-1>.
37. Miyakawa, T., A. T. Noda, C. Kodama, 2018: The impact of hybrid usage of a cumulus parameterization scheme on tropical convection and large-scale circulations in a global cloud-system resolving model. *J. Adv. Model. Earth Syst.* Doi:10.1029/2018MS001302.
38. Mori, M., Y. Kosaka, M. Watanabe, H. Nakamura, and M. Kimoto, 2019: A reconciled estimate of the influence of Arctic sea-ice loss on recent Eurasian cooling. *Nature Climate Change*, doi:10.1038/s41558-018-0379-3.
39. Muller, S., E. Manzini, M. Georgetta, K. Sato, and T. Nasuno, 2018: Convectively Generated Gravity Waves in High Resolution Models of Tropical Dynamics, *Journal of Advances in Modeling Earth Systems*, 10 (10), 2564-2588.
40. Murakami, M., T. Nirasawa, T. Yoshikane, K. Sueki, K. Sasa, K. Yoshimura, 2018: Estimation of dietary intake of radionuclides and effectiveness of regulation after the Fukushima accident and in virtual nuclear power plant accident scenarios, *Int. J. Environ. Res. Public Health*.
41. Ohno, T., and M. Satoh, 2018: Roles of cloud microphysics on cloud responses to sea surface temperatures in radiative-convective equilibrium experiments using a high-resolution global nonhydrostatic model. *J. Adv. Model. Earth Syst.*, 10, 1970-1989. <https://doi.org/10.1029/2018MS001386>.
42. Ono, J., H. Tatebe, and Y. Komuro, 2018: Mechanisms for and predictability of a drastic reduction in the Arctic sea ice: APPOSITE data with climate model MIROC, *J. Climate*, 32, 1361-1380, doi:10.1175/JCLI-D-18-0195.1.

43. 大沼友貴彦, 金炯俊, 芳村圭, 新田友子, 大石龍太, 高田久美子, 2018: 陸域モデル国際相互比較実験 (LS3MIP)を想定した MATSIRO による 20 世紀再現実験, 土木学会論文集 B1(水工学), 74, No.5, I_43-I_48.
44. Prasanna, K., P. Ghosh, S.K. Bhattacharya, P. Rahul, K. Yoshimura, N. Anilkumar, 2018: Moisture rainout fraction over the Indian Ocean during austral summer based on 18O/16O ratios of surface sea water, rainwater at latitude range of 10°N-60°S, *Journal of Earth System Science*, <https://doi.org/10.1007/s12040-018-0960-1>.
45. Rahul P, K. Prasanna, Prosenjit Ghosh, Anilkumar N, Kei Yoshimura, 2018: Stable isotopes in water vapor and rainwater over Indian sector of Southern Ocean and estimation of fraction of recycled moisture, *Scientific Reports*, 8, 7552.
46. Reuter, J., N. Buening, K. Yoshimura, 2018: Evaluating hydrological influences on mid-latitude $\delta^{18}\text{O}$ p in the Middle East, *Clim.Dyn.*, doi:10.1007/s00382-017-3798-3.
47. Roberts, M., P. Vidale, C. Senior, H. Hewitt, C. Bates, S. Berthou, P. Chang, H. Christensen, S. Danilov, M. Demory, S. Griffies, R. Haarsma, T. Jung, G. Martin, S. Minobe, T. Ringler, M. Satoh, R. Schiemann, E. Scoccimarro, G. Stephens, and M. Wehner, 2018: The benefits of global high-resolution for climate simulation: process-understanding and the enabling of stakeholder decisions at the regional scale. *Bull. Amer. Meteor. Soc.* doi:10.1175/BAMS-D-15-00320.1.
48. Roh, W., and M. Satoh, 2018: Extension of a multisensor satellite radiance-based evaluation for cloud system resolving models. *J. Meteor. Soc. Japan*, 96, 55-63, doi:10.2151/jmsj.2018-002.
49. Sato, Y., D. Goto, T. Michibata, K. Suzuki, T. Takemura, H. Tomita, and T. Nakajima, 2018: Aerosol effects on cloud water amounts were successfully simulated by a global cloud-system resolving model. *Nature Communications*, 9:985, doi:10.1038/s41467-018-03379-6.
50. Satoh, M., A. T. Noda, T. Seiki, Y. Chen, C. Kodama, Y. Yamada, N. Kuba, Y. Sato, 2018: Toward reduction of the uncertainties in climate sensitivity due to cloud processes using a global non-hydrostatic atmospheric model. *Progress in Earth and Planetary Science*, 5, 67, <https://doi.org/10.1186/s40645-018-0226-1>.
51. Saya, A., K. Yoshimura, T. Yoshikane, E.-C. Chang, T. Oki, 2018: Precipitation redistribution method for regional simulations of radioactive material transport during the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident, *J. Geophys. Res. Atmos.*, 123. doi:10.1029/2018JD028531.
52. Scaife, A. A., L. Ferranti, O. Alves, P. Athanasiadis, J. Baehr, M. Dequeacute, T. Dippe, N. Dunstone, D. Fereday, R. G. Gudgel, R. J. Greatbatch, L. Hermanson, Y. Imada, S. Jain, A. Kumar, C. MacLachlan, W. Merryfield, W. A. Muuml; ller, H.-L. Ren, D. Smith, Y. Takaya, G. Vecchi, X. Yang, 2018: Tropical rainfall predictions from multiple seasonal forecast systems. *International Journal of Climatology*, 39, 974-988.
53. Saeed, F., I. Bethke, E. Fischer, S. Legutke, H. Shioyama, D. Stone, C.-F. Schleussner, 2018: Robust changes in tropical rainy season length at 1.5°C and 2°C. *Environ. Res. Lett.*, 13, 064024.
54. Shibuya R., K. Sato, 2018: A study of the dynamical characteristics of inertia-gravity waves in the Antarctic mesosphere combining the PANSY radar and a non-hydrostatic general circulation model, *Atmos. Chem. Phys. Discuss*, doi:10.5194/acp-2018-1023.
55. 庄司悟, 岡鄰淳史, 芳村圭, 2018: 気候プロキシデータ同化における観測インパクトの時空間偏在性に関する考察, 土木学会論文集 B1(水工学), 74, No.5, I_49-I_54.
56. Smith, D. M., A. A. Scaife, E. Hawkins, R. Bilbao, G. J. Boer, M. Caian, L.-P. Caron, G. Danabasoglu, T. Delworth, F. J. Doblas-Reyes, R. Doescher, N. J. Dunstone, R. Eade, L. Hermanson, M. Ishii, V. Kharin, M. Kimoto, T. Koenigk, Y. Kushnir, D. Matei, G. A. Meehl, M. Menegoz, W. J. Merryfield, T. Mochizuki, W. A. Muller, H. Pohlmann, S. Power, M. Rixen, M. Tuma, K. Wyser, X. Yang, S. Yeager, 2018: Predicted chance that global warming will temporarily exceed 1.5 degree, *Geophys. Res. Lett.*, 45, doi:10.1029/2018GL079362.
57. Suzuki, K., and T. Takemura, 2019: Perturbations to global energy budget due to absorbing and scattering aerosols. *J. Geophys. Res. Atmos.*, doi:10.1029/2018JD029808, in press.
58. Takahashi, C., H. Shioyama, Y. Imada, Y. Kosaka, M. Mori, M. Arai, Y. Kamae, M. Watanabe, 2018: The Effects of Natural Variability and Climate Change on the Record Low Sunshine over Japan During August 2017. in *Explaining Extreme Events of 2017 from a Climate Perspective*, *Bulletin of the American Meteorological Society*, DOI:10.1175/BAMS-D-18-0107.1.

59. Takasuka, D., M. Satoh, T. Miyakawa, and H. Miura, 2018: Initiation Processes of the Tropical Intraseasonal Variability Simulated in an Aqua-planet Experiment: What is the Intrinsic Mechanism for MJO Onset? *J. Adv. Model. Earth Syst.*, 10, 1047-1073, <https://doi.org/10.1002/2017MS001243/>.
60. Tanoue, M., K. Ichiyangi, K. Yoshimura, M. Kiguchi, T. Terao, T. Hayashi, 2018: Seasonal variation in isotopic composition and origins of precipitation over Bangladesh, PEPS, <https://doi.org/10.1186/s40645-018-0231-4>.
61. Tatebe, H., Y. Tanaka, Y. Komuro, and H. Hasumi, 2018: Impact of deep ocean mixing on the climatic mean state in the Southern Ocean, *Sci. Rep.*, 8, doi:10.1038/s41598-018-32768-6.
62. Toda, M., and M. Watanabe, 2018: Linear and nonlinear hydrological cycle responses to increasing sea surface temperature. *Geophys. Res. Lett.*, 45, 1551-1558. <https://doi.org/10.1002/2017GL076745>.
63. H. Tsuguti, N. Seino H. Kawase Y. Imada, T. Nakaegawa, and I. Takayabu, 2018: Meteorological overview and mesoscale characteristics of the Heavy Rain Event of July 2018 in Japan. *Landslides*, in press, <https://doi.org/10.1007/s10346-018-1098-6>.
64. Ueda, H., K. Miwa, and Y. Kamae, 2018: Seasonal modulation of tropical cyclone occurrence associated with coherent Indo-Pacific variability during decaying phase of El Nino. *J. Meteor. Soc. Japan*, 96, 381-390.
65. Wang, H., S.-P. Xie, Y. Kosaka, Q. Liu and Y. Du, 2018: Dynamics of Asian Summer Monsoon Response to Anthropogenic Aerosol Forcing. *J. Climate*, 32, 843-858. <https://doi.org/10.1175/JCLI-D-18-0386.1>.
66. Wang, C.-Y., S.-P. Xie and Y. Kosaka, 2018: Indo-western Pacific climate variability: ENSO forcing and internal dynamics in a tropical Pacific pacemaker simulation. *J. Climate*, 31, 10123-10139. <https://doi.org/10.1175/JCLI-D-18-0203.1>.
67. Watanabe, M., Y. Kamae, H. Shiogama, A. M. DeAngelis, and K. Suzuki, 2018: Low clouds link equilibrium climate sensitivity to hydrological sensitivity. *Nature Climate Change*, doi:10.1038/s41558-018-0272-0.
68. Wei, Z., X. Lee, Z. Liu, U. Seeboonruang, M. Koike, K. Yoshimura, 2018: Influences of large-scale convection and moisture source on monthly precipitation isotope ratios observed in Thailand, Southeast Asia, *Earth and Planetary Science Letters*, 488, doi: 10.1016/j.epsl.2018.02.015.
69. Wehner, M., D. Stone, D. Mitchell, H. Shiogama, E. Fischer, L. S. Graff, V. V. Kharin, L. Lierhammer, B. Sanderson, H. Krishnan, 2018: Changes in extremely hot days under stabilized 1.5°C and 2.0°C global warming scenarios as simulated by the HAPPI multi-model ensemble. *Earth System Dynamics*, 9, 299-311, <https://doi.org/10.5194/esd-9-299-2018>.
70. Wehner M, D Stone, H Shiogama, P Wolski, A Ciavarella, N Christidis, H Krishnan, 2018: Early 21st century anthropogenic changes in extremely hot days as simulated by the C20C+ detection and attribution multi-model ensemble. *Weather and Climate Extremes*, 20, 1-8. <https://doi.org/10.1016/j.wace.2018.03.001>.
71. Wing, A. A., K. A. Reed, M. Satoh, B. Stevens, S. Bony, T. Ohno, 2018: Radiative-Convective Equilibrium Model Intercomparison Project. *Geosci. Model Dev.*, 11, 793-813, <https://doi.org/10.5194/gmd-11-793-2018>.
72. 山崎大, 富樫冨佳, 竹島滉, 佐山敬洋, 2018: 日本全域高解像度の表面流向データ整備, 土木学会論文集 B1(水工学), Vol.75(4), I_163-I_168.
73. Yoshikane, T., K. Yoshimura, 2018: Dispersion characteristics of radioactive materials predicted using wind patterns, *Scientific Reports*, 8, 9926.
74. 芳村圭, 2018: 同位体気象水文学の展望, 水文水資源学会誌.
75. Zhang, Y., S.-P. Xie, Y. Kosaka and J.-C. Yang, 2018: Pacific Decadal Oscillation: Tropical Pacific forcing versus internal variability. *J. Climate*, 31, 8265-8279. <https://doi.org/10.1175/JCLI-D-18-0164.1>.

論文(投稿中)

2017

1. Baker, H., D. J. Karoly, R. J. Millar, U. Beyerle, B. P. Guillod, D. Mitchell, H. Shiogama, S. Sparrow, T. Woollings, and M. R. Allen, 2017: The impact of CO2 concentration at 1.5°C global warming on climate extremes. *Nature*.
2. Boulange, J., N. Hanasaki, T. Veldkamp, H. Shiogama, and J. Schewe, 2017: Magnitude and robustness associated with the climate change impacts on global hydrological variables for transient and stabilized climate

- states. *Environ. Res. Lett.*
3. Hasegawa, A., G. Maksym, F. Erich, B. Ingo, L. Ludwig, and H. Shiogama, 2017: Application of the comparative standardized precipitation index to evaluate meteorological droughts and floods under 1.5°C and 2°C global warming climates above pre-industrial levels. *Environ. Res. Lett.*
 4. Iizumi T., H. Shiogama, Y. Imada, N. Hanasaki, H. Takikawa, and M. Nishimori, 2017: Climate change has modulated the recent global yields of major crops. *Scientific Reports.*
 5. Johnson, N. C., S.-P. Xie, Y. Kosaka, and X. Li, 2018: Increasing occurrence of cold and warm extremes during the recent global warming slowdown. *Nature Communications.*
 6. Kim, Y.-H., S.-K. Min, D.A. Stone, H. Shiogama, and P. Wolski, 2017: Multi-model event attribution of the summer 2013 heat wave in Korea. *Weather and Climate Extremes.*
 7. Kuba, N., T. Seiki, K. Suzuki, W. Roh, and M. Satoh, 2017: Evaluation of rain microphysics using radar simulator and numerical models; Comparison between a two-moment bulk and a spectral bin cloud microphysical schemes. *J. Atmos. Sci.*
 8. Lee D., S.-K. Min, E. Fischer, H. Shiogama, I. Bethke, L. Lierhammer, and J. F. Scinocca, 2017: Impacts of half a degree additional warming on the Asian summer monsoon rainfall. *Environ. Res. Lett.*
 9. Li, C., C. Michel, L. S. Graff, I. Bethke, G. Zappa, T. J. Bracegirdle, E. Fischer, B. Harvey, T. Iversen, M. P. King, H. Krishnan, L. Lierhammer, D. Mitchell, J. Scinocca, H. Shiogama, D. A. Stone, and J. J. Wettstein, 2017: Midlatitude atmospheric circulation responses under 1.5°C and 2.0°C warming and implications for regional impacts. *Earth Syst. Dynam.*
 10. Liu W., W.H. Lim, F. Sun, D. Mitchell, H. Wang, D. Chen, I. Bethke, H. Shiogama, and E. Fischer, 2017: Global freshwater shortages under Paris Agreement scenarios. *Environ. Res. Lett.*
 11. Liu W., F. Sun, W. H. Lim, J. Zhang, H. Wang, H. Shiogama, and Y. Zhang, 2017: Global meteorological drought and severe drought affected population in 1.5°C and 2°C warmer worlds. *Earth System Dynamics.*
 12. Mitchell, D., C Heaviside, N Schaller, M Allen, K. L. Ebi, E. Fischer, A. Gasparri, L. Harrington, V. Kharin, H. Shiogama, J. Sillmann, S. Sippel, and S. Vardoulakis, 2018: Avoided heat-related mortality under targeted Paris Agreement scenarios. *Nature Climate Change.*
 13. Saeed, F., C.-F. Schleussner, I. Bethke, H. Shiogama, and E. Fischer, 2017: Robust changes in tropical rainy season length at 1.5°C. *Environ. Res. Lett.*
 14. Shiogama, H., T. Hasegawa, S. Fujimori, D. Murakami, K. Takahashi, K. Tanaka, S. Emori, I. Kubota, M. Abe, Y. Imada, M. Watanabe, D. Mitchell, N. Schaller, J. Sillmann, E. Fischer, J. F. Scinocca, I. Bethke, and L. Lierhammer, 2017: Reduced inequities in extreme climate hazards with the 1.5°C goal of the Paris Agreement. *Nature Communications.*
 15. Toda, M., and M. Watanabe, 2017: Linear and nonlinear hydrological cycle responses to increasing sea surface temperature. *Geophys. Res. Lett.*, in revisions.
 16. Ueda, H., K. Miwa, and Y. Kamae, 2018: Seasonal modulation of tropical cyclone occurrence associated with coherent Indo-Pacific variability during decaying phase of El Niño. *J. Meteor. Soc. Japan.*
 17. Utsumi N., H. Kim, H. Shiogama, and T. Oki, 2017: Changes of Weather Systems and Precipitation under 1.5 and 2°C Warmer Climates. *Water Resources Research.*
 18. Wehner M., A. Ciavarella, N. Christidis, P. Wolski, H. Shiogama, D. Stone, and H. Krishnan, 2017: Early 21st century anthropogenic changes in extremely hot days as simulated by the C20C+ Detection and Attribution multi-model ensemble. *Weather and Climate Extremes.*

2018

1. Baker H.S., T. Woollings, C. Mbengue, M.R. Allen, C. H. O'Reilly, H. Shiogama, S. Sparrow, 2018: Forced Summer Stationary Waves: The Opposing Effects of Direct Radiative Forcing and Sea Surface Warming. *Climate Dynamics.*
2. Dillon J. Amaya, D. J., Y. Kosaka, W. Zhou, Y. Zhang, S.-P. Xie, and A. J. Miller: The North Pacific pacemaker

- effect on historical ENSO and its mechanisms. *J. Climate*.
3. Saeed, F., I. Bethke, S. Lange, L. Lierhammer, H. Shiogama, D. Stone, T. Trautmann, and C.-F. Schlessner, 2018: Bias correction of multi-ensemble simulations from the HAPPI model intercomparison project. *Geoscientific Model Development*.
 4. Imada, Y., M. Watanabe, H. Kawase, H. Shiogama, and M. Arai, 2019: July 2018 Heat waves in Japan could not have happened without human-induced global warming, *SOLA*.
 5. Kamae, Y., W. Mei, and S.-P. Xie, 2019: Ocean warming pattern effects on future changes in East Asian atmospheric rivers. *Env. Res. Lett.*,
 6. Kataoka, T., M. Kimoto, M. Watanabe, and H. Tatebe, 2018: Wind-Mixed layer-SST Feedbacks in a tropical air-sea coupled system: Application to the Atlantic. *Journal of Climate*
 7. Kawase, H., Y. Imada, H. Sasaki, T. Nakaegawa, A. Murata, M. Nosaka, and I. Takayabu, 2019: Contribution of historical global warming to orographic heavy precipitation estimated by large ensemble high-resolution simulations. *J. Geophys. Res.*
 8. Knutson, T., S. Camargo, J. Chan, K. Emanuel, C.-H. Ho, J. Kossin, M. Mohapatra, M. Satoh, M. Sugi, K. Walsh, L. Wu, 2018: Tropical Cyclones and Climate Change Assessment: Part I. Detection and Attribution. *Bull. Amer. Meteor. Soc.*
 9. Mei, W., Y. Kamae, S.-P. Xie, and K. Yoshida, 2019: Variability and predictability of North Atlantic hurricane frequency in a large ensemble of high-resolution atmospheric simulations. *J. Climate*.
 10. Nasuno, T. 2019: Moisture transport over the western Maritime Continent during the 2015 and 2017 YMC Sumatra campaigns in global cloud-system-resolving simulations.
 11. Noda, A.T., C. Kodama, Y. Yamada1, M. Satoh, T. Ogura, and T. Ohno, 2019: Responses of clouds and large-scale circulation to global warming evaluated from multi-decadal simulations of a global nonhydrostatic model.
 12. Satoh, M., B. Stevens, F. Judt, M. Khairoutdinov, S. Lin, and W.M. Putman, 2018: Global Cloud-Resolving Models. *Current Climate Change Reports*.
 13. Seiki, T., C. Kodama, M. Satoh, Y. Hagihara, and H. Okamoto, 2018: Characteristics of ice clouds in mountain regions detected by CALIPSO and CloudSat satellite observations, submitted to *J. Geophys. Res. Atmos.*
 14. Shiogama, H., T. and co-authors, 2017: Reduced inequities in weather extremes and impacts with the Paris Agreement's 1.5C goal. *Nature Communications*,
 15. Tatebe, H., and co-authors, 2018: Description and basic evaluation of simulated mean state, internal variability, and climate sensitivity in MIROC6. *Geosci. Model. Dev.*
 16. Yamagami, Y., T. Tozuka., B. Qiu, 2018: Dynamics and interannual variability of the Natal Pulse, *Journal of Geophysical Research: Oceans*.

著作物

2017

1. 小玉知央, 2018: 気候変動を理解し、予測するースーパーコンピュータが描く未来ー, *Blue Earth 「Marine Science Seminar」*, 153.
2. 清水達也, 小玉知央, 野田暁, Chen Ying-Wen, 2017: 国際シンポジウム(UCP2016)の参加報告. *天気*, 64, 9-14.
3. 塩竈秀夫, 2017: 地球温暖化 1-地球温度の変化. *日本医師会雑誌特別号「環境による健康リスク」*, 146 (2), S182-S184.
4. 塩竈秀夫, 2017: 1.5°C、2.0°C目標に対する気候変動予測. *環境情報科学*, 46 (3), 15-18.
5. 渡部雅浩, 2018: 日本気候百科(分担執筆). 丸善, 540pp.

2018

1. 橋本明弘ほか9名: 2018年度秋季大会専門分科会「雲微物理モデリングの現状と可能性」報告. *天気*.

2. JAXA EORC 地球が見えるシリーズ「衛星データと数値モデルの融合」(第3回)「世界の気象リアルタイム」の開始とそれを実現した最先端技術 <https://www.eorc.jaxa.jp/earthview/2018/tp181114.html>.
3. 小玉知央, 2018: 気候変動を理解し、予測するースーパーコンピュータが描く未来ー, Blue Earth「Marine Science Seminar」, 30, 1, 28-31, 2018.
4. 池田美紀子, 那須野智江, 2018: 全球非静力学モデルを用いた準実時間予測計算システムの構築と JAMSTEC 集中観測における実利用, JAMSTEC Research and Development, 27 (9), 47-56.
5. 野田暁, 中村晃三, 岩崎俊樹, 佐藤正樹, 2019: 下層大気の変動によって起こる下層雲の応答, 月刊海洋.
6. Sato, Y., and K. Suzuki, 2019: How do aerosols affect cloudiness? Science, 363, 580-581, doi:10.1126/science.aaw3720.
7. 塩竈秀夫, 2018: パリ協定, IPCC1.5°C特別報告書, HAPPI (新用語解説), 天気, 65(5), 55-56.
8. Suzuki, K., H. Takahashi, and G. Stephens, 2018: Process Evaluation Study on Warm Rain (PROES-WR). GEWEX News, Vol. 28, No. 3, 6-8, August 2018.
9. 植田宏昭, 釜江陽一, 2018: 2015、2016年における台風発生数の季節的な変動. 天気, 65, 749-753.
10. 渡部雅浩, 2018: 絵でわかる地球温暖化. 講談社.

学会発表

2017

1. Chen, Y.-W. T. Seiki, C. Kodama, M. Satoh, and A. T. Noda, 2017: The radiative impact of precipitating ice in a global nonhydrostatic model, JpGU-AGU Joint Meeting 2017, Chiba, May 2017.
2. CHEN, Ying-Wen, 清木 達也、小玉 知央、佐藤 正樹、野田 暁, 2017: 雲解像モデルにおける「precipitating ice」の放射効果について、日本気象学会 2017 年度秋季大会, 札幌, 2017 年 10 月 30 日
3. Chen, Y.-W., T. Seiki, C. Kodama, M. Satoh, and A. T. Noda, 2017: Impact of precipitating ice hydrometeor on longwave radiative effects simulated by a global cloud-system resolving model. CFMIP 2017 Meeting on Clouds, Precipitating, Circulation & Climate Sensitivity, PW42, Tokyo, 27 Sep. 2017.
4. Chikamoto, Y., A. Timmermann, J.-J. Luo, T. Mochizuki, M. Kimoto, M. Watanabe, M. Ishii, S.-P. Xie, F.-F. Jin, 2017: Skillful multi-year predictions of tropical trans-basin climate variability, International symposium on advances in seasonal to decadal prediction, Beijing, China, 20 September 2017. (invited)
5. Hirota, N., T. Ogura, H. Tatebe, H. Shiogama, M. Watanabe, and M. Kimoto, 2017: Improvements of the Eastward Propagation of the MJO in MIROC6. JpGU-AGU Joing Meeting 2017, Chiba, Japan, May 2017.
6. Hirota, N., H. Shiogama, H. Akiyoshi, T. Ogura, M. Takahashi, Y. Kawatani, M. Kimoto, and M. Mori, 2017: Factors in the troposphere affecting the stratospheric waves associated with the unexpected QBO disruption in 2016. Joint SPARC Dynamics and Observations Workshop - QBOi, FISAPS and SATIO-TCS, Kyoto, Japan, Oct. 14 2017
7. Hirota, N., T. Ogura, H. Tatebe, H. Shiogama, M. Watanabe, and M. Kimoto, 2017: Roles of shallow convective moistening in the eastward propagation of MJO. 2017 CFMIP Meeting on Clouds, Precipitation, Circulation, and Climate Sensitivity, Tokyo, Japan, Sep. 26 2017
8. 飯泉仁之直, 塩竈秀夫, 今田由紀子, 花崎直太, 金元植, 沈志宏, 西森基貴, 2017: 気候モデルによる大規模アンサンブルデータを用いた作物収量への気候変動影響の検出. 日本気象学会 2017 年度秋季大会, 札幌, 2017 年 10 月 30 日~11 月 2 日.
9. Imada, Y., H. Shiogama, C. Takahashi, Y. Kamae, M. Mori, M. Watanabe, R. Mizuta, M. Ishii, M. Kimoto, 2017: Event attribution with large-ensemble simulations generated by MRI-AGCM. International Workshop on Climate Downscaling Studies, つくば, 2017 年 10 月 2 日.
10. Imada, Y., S. Maeda, M. Watanabe, H. Shiogama, R. Mizuta, M. Ishii, and M. Kimoto, 2017: Recent enhanced seasonal temperature contrast in Japan associated with Interdecadal Pacific Variability. AOGS2017, Singapore, 9 Aug. 2017.

11. Imada, Y., S. Maeda, M. Watanabe, H. Shiogama, R. Mizuta, M. Ishii, and M. Kimoto, 2017: Large ensemble high-resolution climate simulations - Application to Event Attribution study. JpGU-AGU Joint Meeting 2017, 幕張, May 2017.
12. 今田由紀子, 辻野博之, 山中吾郎, 浦川昇吾, 2017: 熱帯海洋高解像度結合モデルによる気候の再現. インド洋/太平洋域における海洋循環/環境応用に関する研究集会, 名古屋, 2017年11月9日~11月10日. (invited)
13. 今田由紀子, 塩竈秀夫, 高橋千陽, 釜江陽一, 前田修平, 森 正人, 廣田渚朗, 小倉和夫, 渡部 雅浩, 2017: 2016年の世界の異常高温事例の多発に関する要因分析. 日本気象学会 2017年度春季大会, 東京, 2017年5月25日~28日.
14. 今田由紀子, 塩竈秀夫, 高橋千陽, 釜江陽一, 森正人, 渡部雅浩, 水田亮, 石井正好, 木本昌秀, 2017: 世界の異常高温頻度に対する温暖化の寄与率の歴史的变化. 日本気象学会 2017年度秋季大会, 札幌, 2017年10月30日~11月2日.
15. 板谷知明, 芳村圭, 2017: 深層学習を用いた水文気象場のダウンスケーリング手法の開発, 水文・水資源学会 2017年度総会・研究発表会, 北見, 2017年9月19日 -21日.
16. Kamae, Y., W. Mei, S.-P. Xie, M. Naoi, and H. Ueda, 2017: Preceding Winter's ENSO Control on Summertime Atmospheric River Activity over the North Pacific. 2017 AGU Fall Meeting, New Orleans, Louisiana, USA, December 11-15 2017.
17. Kamae, Y., and M. Watanabe, 2017: Increase in the Northeastern Pacific low cloud cover in the rapid adjustment to CO2. CFMIP meeting 2017, Tokyo, Japan, September 25-28 2017.
18. 釜江陽一, W. Mei, and S.-P. Xie, 2017: 日本列島における atmospheric river 通過時の豪雨の気候学的特徴. 異常気象研究会 2017, 京都大学 宇治キャンパス, 宇治, 2017年11月20-21日.
19. 釜江陽一, J. Li, S.-P. Xie, 2017: d4PDFを用いた中国黄河流域の変動要因の特定. 日本気象学会 2017年度秋季大会, 北海道大学, 2017年10月30日-11月2日.
20. Kataoka, T., M. Kimoto, M. Watanabe, H. Tatebe, 2018: Wind-Mixed layer-SST Modes in the Tropical Ocean-Atmosphere Coupled System: With Application to the Atlantic, Ocean Sciences Meeting 2018, Portland, U.S., Feb. 12 2018.
21. Kataoka, T., M. Kimoto, and M. Watanabe, 2017: Wind-Mixed layer-SST modes in the tropical air-sea coupled system: With application to the Atlantic, Japan Geoscience Union-American Geophysical Union Joint meeting 2017, Makuhari, Japan May 2017.
22. 片岡崇人, 小山博司, 小野純, 建部洋晶, 望月崇, 渡部雅浩, 木本昌秀, 気候モデル MIROCによる初期値化・予測実験: 海洋フル同化 vs アノマリ同化, 2017年度日本海洋学会秋季大会, 仙台, 2017年10月16日. (invited)
23. Kodama, C., B. Stevens, T. Mauritsen, T. Seiki and M. Satoh, 2017: A strong temperature dependence in precipitation associated with intense extratropical cyclones indicated by inter-hemispheric contrast of cyclones, Asian Conference on Meteorology (ACM) 2017, Busan, Korea, October 23-24, 2017.
24. Kodama, C., B. Stevens, T. Mauritsen, T. Seiki and M. Satoh, 2017: A strong temperature dependence in intense-storm rainfall indicated by inter-hemispheric contrast of storms, 2017 CFMIP Meeting on Clouds, Precipitation, Circulation, and Climate Sensitivity, Itoh Hall, Hongo Campus, University of Tokyo, Tokyo, Japan, September 25-28, 2017.
25. Kodama, C., B. Stevens, T. Mauritsen, T. Seiki and M. Satoh, 2017: A strong temperature dependence in intense-storm rainfall indicated by inter-hemispheric contrast of storms, Fourth International Conference on Earth System Modeling (ICESM), 4ICESM-199, Hamburg, Germany, August 28-September 1, 2017.
26. Kodama, C., T. Ohno, A. T. Noda, H. Yashiro, Y. Yamada, M. Nakano, T. Seiki, T. Nasuno, Y.-W. Chen, T. Miyakawa, M. Satoh and M. Sugi, 2017: Status and outlook of a high-resolution climate simulation using NICAM toward CMIP6 HighResMIP, JpGU-AGU Joint Meeting 2017, AAS12-09, Makuhari, Chiba, Japan, May 20-25, 2017.

27. 小玉知央, 2017: storm-track と雲・降水に関する最近の研究, 波と平均流の相互作用に関する研究会, 仙台, 2017年9月21日.
28. Komuro, Y., H. Tatebe, T. Suzuki, M. Kurogi, and M. Watanabe, 2017: A preliminary hindcast experiment for CMIP6/OMIP using COCO4.9: comparison with a case forced by a new dataset JRA55-do. JpGU-AGU Joing Meeting 2017, Chiba, Japan, May 2017.
29. Kosaka, Y., 2017: Tropical Pacific variability as a key pacemaker of the staircase-like global warming, Centre for Climate Research Singapore, Aug 14, 2017.
30. Kosaka, Y., S.-P. Xie, C.-Y. Wang, 2017: Tropical Pacific variability as a pacemaker of the staircase-like global warming, AOGS 2017, Singapore, Aug 8, 2017.(invited)
31. 小坂優, 謝尚平, C.-Y. Wang, 今田由紀子, 渡部雅浩, 2017:「熱帯太平洋十年規模変動に伴う全球気温変動とその不確定正」日本気象学会 2017年度秋季大会, 札幌, 2017年11月1日.
32. Kuba, N, T. Seiki, K. Suzuki, W. Roh, and M. Satoh, 2017: Comparison between bulk and bin cloud microphysical schemes for warm rain. Japan Geoscience Union Meeting 2017, Chiba, May 2017.
33. 久芳奈遠美, 清木達也, 鈴木健太郎, Woosub Roh, 佐藤正樹, 2017: 衛星シミュレータを用いたバルク法とビン法の雲物理スキームの比較. 日本気象学会 2017年春季大会, 東京, 2017年5月.
34. Mei, W., Y. Kamae, and S.-P. Xie, 2017: Variability of North Atlantic hurricane frequency in a large ensemble of high-resolution climate simulations. 2017 AGU Fall Meeting, New Orleans, Louisiana, USA, December 11-15 2017.
35. Mochizuki, T., M. Watanabe, M. Kimoto, Y. Chikamoto, 2017: Interbasin effects on subdecadal climate changes relevant to global warming hiatus. JpGU-AGU joint meeting 2017, Makuhari, Japan, 24 May 2017.
36. Mochizuki, T., M. Watanabe, M. Kimoto, 2017: Subdecadal modulation in the Pacific relevant to global warming hiatus, International symposium on advances in seasonal to decadal prediction, Beijing, China, 18 September 2017. (invited)
37. 望月崇, 2017: 気候トレンド変調に関わる熱帯の大洋間結合, 第4回 MJO 研究会, 福岡, 2017年9月4日.
38. Mochizuki, T., S. Masuda, Y. Ishikawa, 2017: Multiyear climate prediction with initialization based on 4D-Var coupled data assimilation, 4th International conference on earth system modelling, Hamburg, Germany, 29 August 2017.
39. Mochizuki, T., M. Watanabe, M. Kimoto, 2017: Interbasin effects on subdecadal climate modulation relevant to global warming hiatus, 4th International conference on earth system modelling, Hamburg, Germany, 29 August 2017.
40. Mori, M., 2017: Evaluation of atmospheric response to Arctic sea ice anomalies. Japan Geoscience Union and American Geoscience Union Joint meeting 2017, Makuhari, Chiba, Japan, May 2017.
41. Mori, M., 2017: The role of Arctic sea-ice decline on cold winters in recent Eurasia. Fifth Session of the East Asia winter Climate Outlook Forum (EASCOF-5), Meteorological Agency, Japan, 8 Nov 2017. (invited)
42. Mori, M., Y. Kosaka, M. Watanabe, H. Nakamura and M. Kimoto, 2018: Quantification of influence of Arctic sea-ice reduction and natural variability to recent Eurasian cooling. Fifth International Symposium on Arctic Research (ISAR-5), Hitotsubashi-Hall, Tokyo, Japan, 16 Jan 2018.
43. 直井萌香, 釜江陽一, 植田宏昭, 2017: 北太平洋 Atmospheric Rivers の発生に対する ENSO の同時・時間差影響. 日本気象学会 2017年度秋季大会, 北海道大学, 2017年10月30日-11月2日.
44. Neluwala, P., K. Yoshimura, K. Toride, J. Hirano, M. Ichino, A. Okazaki, 2017: Reconstruction of Historical Weather by Assimilating Old Weather Diary Data, PP31A-1264, AGU Fall Meeting 2017, New Orleans, 11-15 Dec.2017.
45. Neluwala, P., K. Yoshimura, J. Hirano, M. Ichino, 2017: Assimilating Various Fields from Historical Documents: Idealized Experiments, 水文・水資源学会 2017年度総会・研究発表会, 北見, 2017年9月19日 -21日.

46. 新田友子, 芳村圭, 木口雅司, 鈴木健太郎, 竹村俊彦, 2017:SLCP(短寿命気候汚染物質)による陸域水循環への影響, 水文・水資源学会 2017 年度総会・研究発表会, 北見, 2017 年 9 月 19 日-21 日.
47. Noda, A. T., 2017: Cloud feedback and circulation in decadal-scale global nonhydrostatic simulations. CFMIP meeting. Tokyo, 25-28 September 2017.
48. 野田暁, 2017: 全球非静力学シミュレーションにおける雲降水過程の空間解像度への依存性. 東北大学, 宮城県, 24 July 2017. (invited)
49. Ogura, T., M. J. Webb, M. Watanabe, F. H. Lambert, and Y. Tsushima, 2017: Instantaneous radiative forcing as a contributing factor to the inter-model difference in precipitation adjustment, 2017 CFMIP meeting on clouds, precipitation, circulation, and climate sensitivity, Tokyo, 27 September.
50. 小倉知夫, M. J. Webb, 2017: 気候変化において海面水温の上昇が大気へ及ぼす放射加熱の効果, 日本気象学会秋季大会, 札幌, 2017 年 10 月 30 日.
51. Ohno, T., M. Satoh, 2017: Sensitivity Studies of Cloud Responses on SSTs in RCE Experiments Using a High-Resolution Global Nonhydrostatic Model, AOGS2017, Singapore, 06 to 11 AUG, 2017.
52. Ohno, T., M. Satoh, 2017: Sensitivity Studies of Cloud Responses on SSTs in RCE Experiments Using a High-Resolution Global Nonhydrostatic Model, Workshop for Typhoon, cloud and climate study, Taiwan, August 22-24, 2017.
53. Ohno, T., M. Satoh, 2018: Impact of Cloud Microphysics and Vertical Resolution on High-cloud Amount Response on SSTs, 2nd Pan-GASS Meeting 'Understanding and Modelling Atmospheric Processes', Victoria, Australia, 1 Mar. 2018.
54. Ohno, T., M. Satoh, 2017: Sensitivity studies of cloud responses on SSTs in RCE experiments using a high-resolution global nonhydrostatic model, 2017 CFMIP Meeting on Clouds, Precipitation, Circulation, and Climate Sensitivity, Tokyo, September 25-28, 2017.
55. Ono, J., Tatebe, H., and Komuro, Y., 2018: Predictability of Arctic sea ice in a climate model MIROC: toward skillful seasonal forecasts, The 33rd International Symposium on the Okhotsk Sea & Polar Oceans, 2018, Mombetsu, Japan, 19 February 2018.
56. Ono, J., Tatebe, H., and Komuro, Y., 2017: Predictability of a drastic reduction in the Arctic sea ice with climate model MIROC, The eight symposium on Polar Science, Tachikawa, Japan, 6 December 2017.
57. Ono, J., Tatebe, H., and Komuro, Y., 2017: Mechanisms influencing seasonal-to-interannual prediction skill of sea ice extent in the Arctic Ocean in MIROC, FAMOS2017, Woods Hole, USA, 25 October 2017.
58. 小野純, 建部洋晶, 小室芳樹, 2017: 気候モデルを用いた北極研究, J-ArcNet 研究集会, 札幌, 2017 年 12 月 18 日.
59. 小野純, 建部洋晶, 小室芳樹, 2017: 北極海の季節から数年スケールで変動する海氷の予測可能性, 日本海洋学会秋季大会, 仙台, 2017 年 10 月 16 日.
60. Roh, W., Satoh, M., Hashino T., 2017: Evaluation of thermodynamics phases of clouds in NICAM using CALIPSO and J-simulator. モデル衛星連携研究会 2017 in AORI, Kashiwa, 1 Aug. 2017.
61. Roh, W., Satoh, M., Hashino T., 2017: Evaluations of thermodynamic phases of clouds in NICAM using a satellite simulator. 超高解像度大気モデル開発 Workshop in 淡路夢舞台, 25-26 Oct. 2017.
62. Roh, W., Satoh, M., Hashino T., 2017: Evaluations of thermodynamic phases of clouds in NICAM using Joint simulator and CALIPSO. NHM workshop 2017 in Toyama, 29-30 Nov. 2017.
63. Roh, W., Satoh, M., 2017: Numerical study on cloud systems using NICAM. NIES supercomputer workshop 2017 in Tsukuba, 25 Dec. 2017.
64. Roh, W., Satoh, M., Hashino T., 2017: Evaluations of cloud and precipitation in NICAM using satellite simulators. Workshop for Typhoon, cloud and climate study 2017 in Taiwan, 21-24 Aug. 2017.
65. Roh, W., Satoh, M., Hashino T., Okamoto H., 2017: Evaluations of clouds in NICAM using CALIPSO and Joint simulator. JpGU-AGU Joint meeting 2017 in Chiba, Japan, 20-25 May. 2017.

66. Roh, W., Satoh, M., Hashino T. 2017: Evaluations of Cloud Properties in a Global Cloud Systems Resolving Model Using CALIPSO and Satellite Simulator. AOGS 2017 in Singapore, 6-11 Aug. 2017.
67. Roh, W., Satoh, M., Hashino T., 2017: Evaluation of cloud properties in NICAM using satellite simulators. CFMIP 2017 in Tokyo, 25-28 Sep. 2017.
68. Satoh, M., T. Ohno, A. Wing, S. Bony, B. Stevens, and K. Reed, 2017: RCEMIP: Radiative Convective Equilibrium Model Inter-comparison Project. 14th Annual Meeting of Asia Oceania Geosciences Society (AOGS), Aug. 6 (Sun) - 11 (Sun), 2017, Singapore.
69. Satoh, M., 2017: High Cloud Responses to a Warming SST in Radiative Convective Equilibrium Experiments using a Global Non-hydrostatic Model. What can we learn from high-resolution simulations of the real world? 東北大学セミナー, 2017年7月24日.
70. Satoh, M., 2017: Recent development of the Nonhydrostatic Icosahedral Atmospheric Model NICAM and future perspective. Mathematics of the Weather 2017, 3rd - 5th October 2017, Erquy, France. Lasalle Ancre des Mots, Erquy, 11 square de l'Hotel de Ville BP 09, 22430 Erquy.(invited)
71. Satoh, M., 2017: High Cloud Responses to a Warming SST in Radiative Convective Equilibrium Experiments using a Global Non-hydrostatic Model. What can we learn from high-resolution simulations of the real world? Future of Cumulus Parametrization Workshop 10-14 July 2017, Delft University of Technology, The Netherlands. Presentation: 15:00-15:30, 10 July, Session 2 Supporting Cumulus Parametrization. (invited)
72. Satoh, M., Tomoki Ohno, Allison Wing, Sandrine Bony, Bjorn Stevens, and Kevin Reed, 2017: RCEMIP: Radiative Convective Equilibrium Model Inter-comparison Project. JpGU-AGU Joint Meeting 2017, Makuhari, Chiba May 20-25, 2017.
73. Satoh, M., Tomoki Ohno, Allison Wing, Sandrine Bony, Bjorn Stevens, and Kevin Reed, 2017: RCEMIP: Radiative Convective Equilibrium Model Inter-comparison Project. 2017 CFMIP Meeting on Clouds, Precipitation, Circulation & Climate Sensitivity 25-28 September 2017, Ito Hall, the University of Tokyo, Tokyo, Japan, <http://www.miroc-gcm.jp/cfmip2017/>.
74. Seiki, T., C. Kodama, M. Satoh, T. Hashino, Y. Hagihara, and H. Okamoto, 2017: Evaluation of simulated ice clouds using joint CloudSat and CALIPSO satellite observations, JpGU-AGU Joint Meeting 2017, Chiba, May 2017.
75. Seiki, T., D. Goto, M. Satoh, 2017: Aerosol-cloud Interaction in global cloud resolving simulations, CFMIP meeting 2017, Tokyo, Japan, 27 Sep. 2017.
76. Shiogama H., 2017: Reconciling estimates of the Earth's climate sensitivity. 2017 CFMIP Meeting on Clouds, Precipitation, Circulation, and Climate Sensitivity, Tokyo, Japan, 25-28 September 2017.
77. Shiogama, H., 2017: Changes in Frequencies of Extreme Events Due to the Past, 1.5°C and 2.0°C Warming. International Workshop on Climate Downscaling Studies, Tsukuba, Japan, 2-4 Oct. 2017.
78. 塩竈秀夫, 藤森真一郎, 長谷川知子, 高橋潔, 久保田泉, 田中克政, 江守正多, 今田由紀子, 渡部雅浩, 木本昌秀, 阿部学, Daniel Mitchell, Daithi Stone, Myles R. Allen, (2017: 2.0°C安定化から1.5°C安定化への追加緩和努力によって、極端現象の将来変化をどの程度低減できるのか? 日本気象学会 2017年度春季大会, 東京, 2017年5月25日~28日.
79. 塩竈秀夫, 今田由紀子, 森正人, 高橋千陽, 渡部雅浩, 木本昌秀, 2017: 極端現象の過去の人間活動による変化と避けられない将来変化. 日本気象学会 2017年度秋季大会, 札幌, 2017年10月30日~11月2日.
80. 塩竈秀夫, 2017: 産業革命以降と将来の気候変動-古気候研究との関連も含めて-. 平成 29年度 ISEE 研究集会「気候科学と古気候プロキシ研究の接点創出」, 名古屋, 2017年9月22日.
81. Suzuki, K., Y. Sato, T. Takemura, T. Michibata, D. Goto, and E. Oikawa, 2017: Energy-based and process-based constraints on aerosol-climate interactions. AGU Fall Meeting, New Orleans, 11-15 December, 2017.
82. Suzuki, K., 2017: Significance of cloud and precipitation processes in aerosol effect on climate. CFMIP meeting, University of Tokyo, Hongo, 25-28 September, 2017.

83. Suzuki, K., and X. Jing, 2017: Process-oriented evaluation of warm rain process in global models with satellite observations. 5th WGNE Workshop on Systematic Errors in Weather and Climate Models, Montreal, 19-23 June, 2017.
 84. Suzuki, K., 2017: Significance of cloud and precipitation processes in aerosol effect on climate: Satellite observations and modeling. Chemistry-Climate Model Initiative (CCMI) Science Workshop, Meteo-France, Toulouse, France, 13-15 June, 2017. (invited)
 85. 竹島滉, 芳村圭, 2017: 日本の一級水系における計画降雨継続時間の妥当性に関する検証. 水文・水資源学会 2017 年度総会・研究発表会, 北見, 2017 年 9 月 19 日 -21 日.
 86. Tanoue, M., K. Ichiyanagi, K. Yoshimura, J. Shimada and Y. Hirabayashi, 2017: Estimation of the isotopic composition and origins of winter precipitation over Japan using a regional isotope circulation model, PP51E-02, AGU Fall Meeting 2017, New Orleans, 11-15 Dec. 2017.
 87. 戸田賢希, 渡部雅浩, 2017: 温暖化時の降水応答に対する循環場の寄与. 日本気象学会 2017 年度春季大会, 東京, 2017 年 5 月 25 日～28 日.
 88. Watanabe, M., 2017: Equilibrium climate sensitivity tied to hydrological sensitivity by temperature-mediated low cloud feedbacks. 2017 CFMIP Meeting on Clouds, Precipitation, Circulation, and Climate Sensitivity. Tokyo, 25-28 September, 2017.
 89. Watanabe, M., 2017: Implementing convective parameterization schemes in MIROC. Future of Cumulus Parametrization workshop, Delft, 10-13 July, 2017. (invited)
 90. Watanabe, M., 2017: Attribution of recent global warming hiatus and related climate changes, including intensification in the western Pacific trade wind. UAW2017, Taipei, 22-23 August, 2017.
 91. 山田洋平, 2017: 感度実験における台風の再現性の比較～HiresMIP に向けた準備実験の結果～. 理研シンポジウム「超高解像度大気モデルワークショップ」, 淡路島, 2017 年 10 月 26 日.
 92. 山田洋平, 佐藤正樹, 杉正人, 小玉知央, 野田暁, 中野満寿男, 那須野智江, 2017: 全球非静力学モデルを用いた地球温暖化による台風の構造変化, 日本気象学会 2017 年秋季大会, 札幌, 2017 年 11 月 2 日.
 93. Yamazaki D., D. Ikeshima, J.C. Neal, F. O'Loughlin, C. Sampson, S. Kanae, P.D. Bates, 2017: H12C-04, MERIT DEM: A new high-accuracy global digital elevation model and its merit to global hydrodynamic modeling, AGU Fall Meeting 2017, New Orleans, 11-15 Dec.2017. (invited)
 94. Yamazaki D., 2017: H44H-04, A new, accurate, global hydrography data for remote sensing and modelling of river hydrodynamics. AGU Fall Meeting 2017, New Orleans, 11-15 Dec.2017.
 95. Yoshimura, K., 2017: Atmospheric reanalysis for multi-centuries using historical weather archives and isotopic proxies, 5th International Conference on Reanalysis (ICR5), Rome, 13-17 Nov.2017.
 96. Yoshimura, K., 2017: Data assimilation of Isotopic information for multi centennial atmospheric reanalysis, International Workshop on Isotopes for Tropical Ecosystem Studies, Costa Rica, 2-6 Oct.2017. (invited)
- 2018
1. Chen, Y.-W., T. Seiki, C. Kodama, M. Satoh, A. T. Noda, 2018: Impact of Precipitating Ice Hydrometeors on Longwave Radiative Forcing Estimated by a Global Cloud-system Resolving Model. 15th Annual Meeting, Asia Oceania Geoscience Society (Honolulu, Hawaii, US), June 3-8, 2018.
 2. Chen, Y.-W., T. Seiki, C. Kodama, M. Satoh, A. T. Noda, 2018: Impact of Precipitating Ice Hydrometeors on Longwave Radiative Forcing Estimated by a Global Cloud-system Resolving Model. Japan Geoscience Union Meeting, Makuhari, Japan, May 22, 2018.
 3. Guo, X., K. Yoshimura, 2018: Impacts of Heat Flux Adjustments on the Climate Simulation in a Regional Atmosphere-Ocean Coupled Model RSM-ROMS over the Northwest Pacific Ocean, OS13-A026, AOGS2018, Honolulu, June 6, 2018.
 4. 原田央, 芳村圭, 水谷司, 2018: 信号処理分野の先端技術導入による新たな古気候復元手法の提案, 水文水資源学会 2018 年度研究発表会, 三重, 2018 年 9 月 12 日.

5. 長谷川聡, Maksym Gusyev, 渡部雅浩, 2018: 比較 SPI 及び比較 SPEI を用いた 4°C 昇温時の気象学的渇水の比較, 日本気象学会秋季大会, 仙台, 10 月 31 日.
6. Hatono, M., T. Nitta, T. Arakawa, K. Yoshimura, 2018: Modeling Sediment Dynamics at the Global Scale, EP21D-2293, AGU Fall Meeting 2018, Washington DC, Dec. 10-14, 2018.
7. 廣田 渚郎, 塩竈 秀夫, 秋吉 英治, 小倉 知夫, 高橋 正明, 河谷 芳雄, 木本 昌秀, 森 正人, 2018: 2016 年 QBO 崩壊に対するエルニーニョと海氷の影響. JpGU 2018, 千葉, 2018 年 5 月 20-24 日.
8. Hirota, N., T. Ogura, M. Watanabe, H. Shiogama, Y. Kamae, and K. Suzuki, 2018: Underestimation of the equilibrium climate sensitivity associated with overly active deep convection in CMIP5. CFMIP Meeting 2018, Boulder, Colorado, USA, October 16-19 2018.
9. Hirota, N., H. Shiogama, H. Akiyoshi, T. Ogura, M. Takahashi, Y. Kawatani, M. Kimoto, and M. Mori, 2018: The influences of El Nino and Arctic sea-ice on the QBO disruption in February 2016. the SPARC General Assembly 2018, Kyoto, Japan, October 1-5 2018.
10. 井田 寛子, 芳村 圭, 沖 大幹, 2018: 生物季節と地球温暖化～サクラ開花への影響～, 第 63 回水工学講演会, 札幌, 2018 年 11 月 25-27 日.
11. Ikeda, M., and T. Nasuno, 2018: Near real-time forecasts using global nonhydrostatic model on the Earth Simulator during intensive observations, JpGU meeting 2018, Makuhari, Chiba, May 23, 2018.
12. 今田由紀子, 山中 吾郎, 辻野 博之, 浦川 昇吾, 2018: 高解像度熱帯海洋ネストモデルを組み込んだ地球システムモデルによる気候シミュレーション, JpGU2018, 幕張メッセ, 5 月 20 日.
13. 今田由紀子, 山中 吾郎, 辻野 博之, 浦川 昇吾, 2018: 高解像度熱帯海洋ネストモデルを組み込んだ地球システムモデルによる ENSO 予測, JpGU2018, 幕張メッセ, 5 月 21 日.
14. Imada, Y., H. Tatebe, M. Watanabe, M. Ishii, and M. Kimoto, 2018: Influence of Subsurface Advection in the Off-Equatorial South Pacific Ocean on El Nino Evolution. AOGS2018, Honolulu, 6 Jun. 2018.
15. Imada, Y., G. Yamanaka, H. Tsujino, S. Urakawa, and Y. Takatsuki, 2018: ENSO prediction using an earth system model incorporating a high-resolution tropical ocean nesting model. International Conference on Subseasonal to Decadal Prediction, World Climate Research Programme, NCAR, 25 Sep. 2018.
16. 今田由紀子, 山中 吾郎, 辻野 博之, 浦川 昇吾, 高槻靖, 2018: 高解像度熱帯海洋ネストモデルを組み込んだ地球システムモデル MRI-ESM1 による ENSO 予測, 日本海洋学会 2018 年秋季学会, 品川, 9 月 28 日 (招待講演).
17. 今田由紀子, 川瀬宏明, 荒井美紀, 渡部雅浩, 仲江川敏之, 高薮出, 2018: 2017 年 7 月九州北部豪雨に対する地球温暖化の寄与, 日本気象学会 2018 年秋季大会, 仙台, 10 月 31 日.
18. 今田由紀子, 川瀬宏明, 2018: 2018 年 7 月の豪雨や猛暑に対する地球温暖化の影響. 研究会「長期予報と大気大循環」2018 年夏の異常な天候と大気循環, 気象庁, 東京, 2018 年 12 月 12 日.
19. Ishitsuka, Y., D. Yamazaki, K. Yoshimura, 2018: Development of an operational early flood forecasting system and 11-year validation of forecast skill over Japan, H52B-01, AGU Fall Meeting 2018, Washington DC, Dec. 10-14, 2018.
20. Ishiyama, T., 2018: Differences in tropical cyclogenesis in North Pacific between the strong El Niño years 1997 and 2015 investigated by perpetual July experiments with NICAM, JpGU Meeting 2018.
21. 釜江陽一, 2018: 平成 30 年 7 月豪雨をもたらした大気の特徴. 研究会「長期予報と大気大循環」, 気象庁, 東京, 2018 年 12 月 12 日.
22. 釜江陽一, W. Mei, S.-P. Xie, 2018: 複数の海面水温上昇分布を仮定した atmospheric river 発生頻度の将来変化予測. 日本気象学会 2018 年度秋季大会, 仙台国際センター, 仙台, 2018 年 10 月 29-11 月 1 日.
23. Kamae, Y., 2018: Indian Ocean warming and East Asian atmospheric river activity in post El Nino summer. JpGU Meeting 2018, Chiba, Japan, 20-24 May, 2018.
24. 釜江陽一, W. Mei, S.-P. Xie, 2018: 東アジア atmospheric river に伴う豪雨の気候学的特徴. 日本気象学会 2018 年度春季大会, つくば国際会議場, つくば, 2018 年 5 月 16-19 日.

25. Kamae, Y., W. Mei, S.-P. Xie, M. Naoi, and H. Ueda, 2018: Indian Ocean warming and East Asian atmospheric rivers in post El Nino summer. AOGS 15th Annual Meeting, Honolulu, Hawaii, USA, June 3-8 2018.
26. Kamae, Y., R. Chadwick, D. Ackerley, M. Ringer, and T. Ogura, 2018: Seasonally variant low cloud adjustment over cool oceans. CFMIP Meeting 2018, Boulder, Colorado, USA, October 16-19 2018.
27. Kanemaru, K. and M. Satoh, 2018: Satellite and model analysis of short-term precipitation characteristics over tropical oceans, AAS04-11, Japan Geoscience Union Meeting 2018, Chiba, May 2018.
28. Kanemaru, K., M. Satoh, K. Terasaki, S. Totsuki, T. Miyoshi, and T. Kubota, 2018: 3.5km Mesh Ensemble Simulations by NICAM-LETKF Assimilating GSMaP, 2018 PMM Science Team Meeting, Phoenix, October 2018.
29. Kanemaru, K. and M. Satoh, 2018: Satellite and Model Analysis of Short-Term Characteristics Related with Convective Activity Over Tropical Oceans, AS46-D3-PM1-P-017, AOGS 2018, Hawaii, June, 2018.
30. 金丸佳矢, 佐藤正樹, 寺崎康児, 小槻峻司, 三好健正, 久保田拓志, 2018: JAXA 版アンサンブル再解析データを用いた高解像度全球アンサンブル予報の結果, 平成 30 年 7 月豪雨に関する緊急対応研究会, 神戸, 2018 年 8 月.
31. 片岡崇人, 木本昌秀, 渡部雅浩, 建部洋晶, 2018: 風-混合層-海面水温フィードバック: 熱帯大西洋への応用. 2018年度日本海洋学会秋季大会, 東京, 2018 年 9 月 27 日.
32. Kataoka, T., H. Tatebe, H. Koyama, and T. Mochizuki, 2018: Seasonal to Multi-year Climate Hindcast Experiments by MIROC models. International Conferences on Subseasonal to Decadal Prediction, Boulder, U.S., September 19, 2018.
33. Kataoka, T., M. Kimoto, M. Watanabe, and H. Tatebe, 2018: New Ocean-Atmosphere Coupled Feedback in the Tropical Atlantic: Wind-Mixed Layer-SST modes. International Conferences on Subseasonal to Decadal Prediction, Boulder, U.S., September 17, 2018.
34. Kataoka, T., S. Masson, T. Izumo, T. Tozuka, and T. Yamagata, 2018: Ningaloo Niño as a phenomenon independent from El Niño/Southern Oscillation. AOGS 2018, Honolulu, U.S., June 7, 2018.
35. Kataoka, T., H. Tatebe, H. Koyama, and T. Mochizuki, 2018: Seasonal to multi-year climate prediction experiments using MIROC coupled models. Japan Geoscience Union meeting 2018, Chiba, Japan, May 20, 2018.
36. Kataoka, T., M. Kimoto, M. Watanabe, and H. Tatebe, 2018: On the Wind-Mixed layer-SST Feedbacks in the Atlantic. EGU General Assembly 2018, Vienna, Austria, April 13, 2018.
37. Kodama, C., M. Satoh, T. Ohno, A. T. Noda, H. Yashiro, Y. Yamada, M. Nakano, T. Seiki, T. Nasuno, Y.-W. Chen, T. Miyakawa, M. Sugi, and W. Roh, 2018: Preliminary results of a high-resolution climate simulation using the Non-Hydrostatic Icosahedral Atmospheric Model, NICAM, for CMIP6 HighResMIP, JpGU Meeting 2018, AAS01-P02, Makuhari Messe, Chiba, Japan, May 20-24, 2018.
38. Kodama, C., M. Satoh, T. Ohno, A. T. Noda, H. Yashiro, Y. Yamada, M. Nakano, T. Seiki, T. Nasuno, Y.-W. Chen, T. Miyakawa, M. Sugi, W. Roh, 2018: Preliminary results of a high-resolution climate simulation using the Non-Hydrostatic Icosahedral Atmospheric Model, NICAM, for CMIP6 HighResMIP, AOGS2018, AS20-A013, June 5, 2018.
39. 小玉知央, 佐藤正樹, 大野知己, 野田暁, 八代尚, 山田洋平, 中野満寿男, 清木達也, 那須野智江, Ying-Wen Chen, 宮川知己, 杉正人, Woosub Roh, 2018: 全球非静力学モデル NICAM 気候実験における水平解像度依存性, 日本気象学会 2018 秋季大会, B406, 仙台, 2018 年 11 月 1 日.
40. 小玉知央, 2018: 全球雲解像モデルにおける可視化の実例と課題, CG・可視化研究会 (CAVE 研究会), JAMSTEC 横浜研究所, 2018 年 9 月 25 日.
41. 小玉知央, 2018: HighResMIP、とその先, NICAM 開発者会議, 玉原, 2018 年 10 月 9-10 日.
42. Kohyama, T., D. L. Hartmann, and D. S. Battisti, 2018: Weakening of Nonlinear ENSO and a La Nina-like Mean-State Response to Global Warming, AOGS 2018, Honolulu, USA, June 3-8, 2018

43. Kohyama, T., D. L. Hartmann, and D. S. Battisti, 2018: El Nino or La Nina-like global warming? - a case study with GFDL-ESM2M and MIROC5, Japan Geoscience Union - American Geophysical Union Joint Meeting 2017, Chiba, Japan, May 20-24, 2018
44. Kubokawa, H., M. Satoh, T. Kawasaki, N. Kimura and H. Hasumi, 2018: Analysis of arctic cyclone of August 2012 using non-hydrostatic global atmosphere and ocean coupled model, Polar CORDEX 2018, Institute of Geophysics Polish Academy of Sciences in Warsaw, Poland, 17 - 19 October, 2018.
45. 久保川陽呂鎮,佐藤正樹,川崎高雄,木村詞明,羽角博康, 2018: 全球非静力学大気海洋結合モデルを用いた2012年のArctic Cycloneの研究, 気象学会秋季大会, 仙台, 2018年10月28日-11月1日.
46. 久保川陽呂鎮,佐藤正樹,川崎高雄,木村詞明,羽角博康, 2018: 全球非静力学大気海洋結合モデルを用いた2012年のArctic Cycloneの研究, NICAM 開発者会議, 東京大学玉原国際セミナーハウス, 日本, 2018年10月9日-10月10日.
47. 久芳奈遠美,清木達也,鈴木健太郎,Woosub Roh,佐藤正樹, 2018: 暖かい雨に対する雲物理スキーム比較実験 - バルク法で使われる shape parameter の効果 - 気象学会春季大会, 2018年5月.
48. 久芳奈遠美,清木達也,鈴木健太郎,Woosub Roh,佐藤正樹, 2018: 暖かい雨に対する雲物理スキームの比較実験 - バルク法改良のための衛星データの活用法の模索 - 衛星シミュレータ研究会, 2019年3月.
49. Miyakawa, T., Yashiro, H., Suzuki, T., Tatebe, H., and Satoh, M., 2018: Abrupt termination of the 1997/1998 El Nino by an MJO Represented with an Ocean-Coupled NICAM (NICOCO). AOGS Annual Meeting, Honolulu, USA, June 3-8, 2018.
50. Miyakawa, T., Noda, A., T., Kodama, C., 2018: The impact of hybrid usage of the Chikira-Sugiyama scheme on tropical convection and large-scale circulations in NICAM, 5th International Workshop on Nonhydrostatic Models, Tokyo, Japan, Nov. 14-16, 2018.
51. Miyakawa, T., Yashiro, H., Suzuki, T., Tatebe, H., and Satoh, M., 2018: Ocean-coupled NICAM (NICOCO) and its application on MJO - El Niño interacting events. International Conferences on Subseasonal to Decadal predictions, Boulder, USA, Sep. 17-21, 2018.
52. Mochizuki, T., M. Watanabe, M. Kimoto, 2018: Tropical Atlantic impacts on subdecadal variability in the Pacific, International conferences on subseasonal to decadal prediction, Boulder, USA, September 17, 2018.
53. Mochizuki, T., S. Masuda, Y. Ishikawa, 2018: Multiyear climate prediction by using 4D-Var coupled data assimilation system, International conferences on subseasonal to decadal prediction, Boulder, USA, September 20, 2018.
54. 望月崇, 2018: 初期値化を施した中高緯度気候予測, 東京大学大気気海洋研究所附属国際沿岸海洋研究センター 共同利用研究集会, 大槌, 2018年8月28日.
55. Mochizuki, T., M. Watanabe, M. Kimoto, 2018: Subdecadal climate variability in the Pacific in 2000s, 4th ECCWO international symposium, Washington D.C., USA, June 7, 2018.
56. Mochizuki, T., S. Masuda, Y. Ishikawa, 2018: Multiyear climate prediction by using 4D-Var coupled data assimilation system, 4th ECCWO international symposium, Washington D.C., USA, June 2, 2018.
57. Mochizuki, T., M. Watanabe, M. Kimoto, 2018: Tropical Atlantic warming impacts on subdecadal variability in the Pacific, Japan Geoscience Union Meeting 2018, Makuhari, Japan, May 20, 2018.
58. Mochizuki, T., S. Masuda, Y. Ishikawa, 2018: Multiyear climate prediction using 4D-Var coupled data assimilation system, Japan Geoscience Union Meeting 2018, Makuhari, Japan, May 20, 2018.
59. 森正人, 小坂優, 渡部雅浩, 中村尚, 木本昌秀, 2018: 北極海水変動に対する大気応答の同定と定量化. 極域・寒冷域研究連絡会, 仙台, 2018年10月29日.
60. Mori, M., Kosaka, Y., Watanabe, M., Nakamura, H. and Kimoto, M., 2018: Quantification of influence of Arctic sea-ice reduction and natural variability to recent Eurasian cooling. Fifth International Symposium on Arctic Research (ISAR-5), Hitotsubashi-Hall, Tokyo, Japan, Jan 16, 2018.

61. Mori, M., Kosaka, Y., Watanabe, M., Nakamura, H. and Kimoto, M., 2018: Robust estimation of Arctic sea-ice loss impact on Eurasian cooling. Japan Geoscience Union and American Geoscience Union Joint meeting 2018, Makuhari, Chiba, Japan, 24 May 2018.
62. Mori, M., Kosaka, Y., Watanabe, M., Nakamura, H. and Kimoto, M., 2018: Quantification of influence of Arctic sea-ice decline and natural variability to recent Eurasian cooling, Stratosphere-troposphere Processes And their Role in Climate (SPARC) 2018 General Assembly, Kyoto, Japan, Oct. 4, 2018.
63. Mori, M., Kosaka, Y., Watanabe, M., Nakamura, H. and Kimoto, M., 2018: Quantification of influence of Arctic sea-ice decline and natural variability to recent Eurasian cooling. The Ninth Symposium on Polar Science, Tachikawa, Japan, Dec. 5, 2018.
64. Nakano, M., K. Kikuchi, T. Nasuno, Y. Yamada, M. Satoh, M. Sugi, 2018: Future Changes in the Intraseasonal Variability and Typhoon Activity in a Nonhydrostatic Global Atmospheric Model, NICAM-UW workshop, Seattle, USA.
65. Nakano, M., K. Kikuchi, T. Nasuno, Y. Yamada, M. Satoh, M. Sugi, 2018: Future Changes in the Intraseasonal Variability and Typhoon Activity in a Nonhydrostatic Global Atmospheric Model, AOGS2018, Hawaii, USA, June 5, 2018.
66. Nakano, M., K. Kikuchi, T. Nasuno, Y. Yamada, M. Satoh, M. Sugi, 2018: Future Changes in the Intraseasonal Variability and Typhoon Activity in a Nonhydrostatic Global Atmospheric Model, JpGU2018, Chiba, Japan, May 23, 2018.
67. 直井萌香, 釜江陽一, 植田宏昭, 2018: ENSO の季節進行に伴う夏季北太平洋 Atmospheric Rivers の変調. 異常気象研究会 2018, 京都大学 宇治キャンパス, 宇治, 2018 年 11 月 21-22 日.
68. 直井萌香, 釜江陽一, 植田宏昭, W. Mei, 2018: ENSO の季節進行に伴う夏季北太平洋 Atmospheric Rivers の変調. 日本気象学会 2018 年度秋季大会, 仙台国際センター, 仙台, 2018 年 10 月 29-11 月 1 日.
69. Nasuno, T. and K. Kikuchi, 2018: Global cloud-system-resolving simulation of the Intraseasonal Oscillation over the Maritime Continent during the recent field campaigns. The 33rd Conference on Hurricane and Tropical Meteorology, Ponte Vedra Beach, U.S.A.
70. Nasuno, T., M. Nakano, K. Kikuchi, T. Li, 2018: Forecast skill of intraseasonal oscillation events over the Maritime Continent in a global cloud-system-resolving model, 1st International Conference on Tropical Meteorology and Atmospheric Sciences, Bandung, Indonesia.
71. Nasuno, T., M. Nakano, K. Kikuchi, T. Li, 2018: Forecast skill of intraseasonal oscillation events over the Maritime Continent in a global cloud-system-resolving model, AOGS2018, Honolulu, June 3-8, 2018.
72. Nasuno, T., M. Nakano, K. Kikuchi, T. Li, 2018: Forecast skill of intraseasonal oscillation events over the Maritime Continent in a global cloud-system-resolving model, JpGU meeting 2018, Makuhari, Chiba, May 20-24, 2018.
73. 那須野智江, 中野 満寿男, 菊地 一佳, Tim Li, 2018: YMC 期間中の季節内振動事例の全球非静力学モデルによる予測性能, 日本気象学会 2017 年秋季大会, 仙台, 2018 年 10 月 29 日-11 月 1 日.
74. Nasuno, T., M. Nakano, K. Kikuchi, T. Li, 2018: Forecast skill of intraseasonal oscillation events over the Maritime Continent in a global cloud-system-resolving model, 5th international workshop on Nonhydrostatic models (NHM2018), Japan Meteorological Agency, Tokyo, Nov. 14-16, 2018 (poster on 14 November).
75. Nasuno, T., 2018: Numerical simulation of multi-scale precipitation and dynamics using NICAM, LAPAN-JAMSTEC Workshop on the Atmospheric Dynamics in the Maritime Continent, Bundung, Indonesia, Sep. 18, 2018.
76. 那須野智江, 2018: 2018 年夏季 NICAM 予測計算, 台風診断 meeting, 東京大学大気海洋研究所, 柏、千葉、2018 年 8 月 24 日.
77. Neluwala, P. and K. Yoshimura, 2018: Reconstruction of Historical Weather Using Personal Weather Diaries, The 11th annual ACRE meeting, Tokyo, Nov. 12-16, 2018.

78. Nitta, T., K. Yoshimura, A. Abe-Ouchi, 2018: The impact of representing snow-fed wetlands on summer warm and dry biases through land atmosphere interaction in MIROC5 AGCM experiment, 8th GEWEX open science conference, Canmore, May 6-11, 2018.
79. 新田友子, 竹島滉, 鳩野美佐子, 八代尚, 荒川隆, 山崎大, 芳村圭, 2018: 統合陸域シミュレータ (ILS) の開発, 水文水資源学会 2018 年度研究発表会, 三重, 2018 年 9 月 12 日.
80. 新田友子, 芳村圭, 2018: 統合陸域シミュレータの開発と気候モデルとの結合に向けた検討, 気象学会 2018 年度秋季大会, 仙台, 2018 年 11 月 1 日.
81. Nitta, T., T. Arakawa, A. Takeshima, M. Hatono, H. Yashiro, D. Yamazaki, K. Yoshimura, 2018: Development of ILS, Integrated Land Simulator, H51O-1499, AGU Fall Meeting 2018, Washington DC, Dec. 10-14, 2018.
82. Noda, A. T., 2018: Cloud feedback and circulation in decadal-scale nonhydrostatic global simulations. 15th Annual meeting of Asia Oceania Geosciences Society, Convection center, Honolulu, Hawaii, June 4-8, 2018.
83. Noda, A. T., 2019: Responses of clouds and large-scale circulation to global warming evaluated from multi-decadal simulations of a global nonhydrostatic model. TOUGOU Theme A International workshop, University of Hawaii, Honolulu, Hawaii, March 5-6, 2019.
84. Noda, A. T., 2018: Revisit of the fixed anvil temperature hypothesis from nonhydrostatic global simulations. International workshop on nonhydrostatic modeling, 14-16 Nov. 2018, Japan Meteorological Agency, Tokyo.
85. Noda A. T., 2018: Clouds, circulations, and their changes due to global warming. CFMIP meeting. Boulder, CO, USA, 16-19 October 2018.
86. 野田暁, 松田景吾, 岩渕弘信, 大西領, 宮本佳明, 2018: 液滴を陽に考慮した境界層雲の 3 次元放射伝達モデルの開発. 気象学会秋季大会, 仙台, 2018 年 10 月 29-11 月 1 日.
87. Noda, A. T., 2018: Clouds and circulation in AMIP-like 30-year NICAM simulations. NICAM-UW joint meeting. The University of Washington, 30 May-1 July 2018.
88. 小倉知夫, M. J. Webb, 渡部雅浩, F. H. Lambert, and 對馬洋子, 2018: CO₂ 濃度増加の瞬時放射強制力に起因する降水予測の不確実性, 日本気象学会秋季大会, 仙台, 2018 年 10 月 31 日.
89. Ogura, T. and M. J. Webb, 2018: A new mechanism for positive low cloud feedback? CFMIP meeting, Boulder, October 18, 2018.
90. Okazaki A., T. Miyoshi, K. Yoshimura, F. Zhang, 2018: Toward online data assimilation for the millennium reanalysis, ACC29-09, JpGU2018, 幕張, 2018 年 5 月 22 日.
91. Okazaki A., T. Miyoshi, K. Yoshimura, F. Zhang, 2018: An online data assimilation method to assimilate time-averaged observations, PP41F-1907, AGU Fall Meeting 2018, Washington DC, 2018/12/10-14.
92. Ono, J., Takebe, H., and Komuro, Y., 2018: Mechanisms for and predictability of a drastic reduction in the Arctic sea ice, FAMOS2018, Bergen, 23-26 October 2018
93. Ono, J., Takebe, H., and Komuro, Y., 2018: Predictability of a drastic reduction in the Arctic sea ice, JpGU2018, Makuhari, 24 May 2018
94. 大沼友貴彦, 金 炯俊, 芳村 圭, 新田友子, 大石龍太, 高田久美子, 2018: 陸域モデル国際相互比較実験 (LS3MIP) を想定した MATSIRO による 20 世紀再現実験, 第 63 回水工学講演会, 札幌, 2018 年 11 月 25-27 日.
95. Roh, W., Seiki, T., Satoh, M., Hashino T. 2018: Evaluation of microphysics in mixed-phase clouds over the Southern Ocean in NICAM using Joint simulator. 7th International EarthCARE Science Workshop in Germany, 10-16 June. 2018.
96. Roh, W., Seiki, T., Satoh, M., Hashino T. 2018: Evaluation of microphysics in mixed-phase clouds over the Southern Ocean in NICAM using Joint simulator. The 5th International Workshop on Nonhydrostatic Models, 14-16 Oct. 2018.
97. Roh, W., Seiki, T., Satoh, M., Hashino T. 2018: Evaluations of mixed-phase clouds over the Southern Ocean in NICAM using Joint simulator. 2018 年度秋季大会, 29 Oct - 1 Nov. 2018.

98. Roh, W., Seiki, T., Satoh, M., Hashino T. 2018: Evaluations of mixed-phase clouds in NICAM over the Southern Ocean using CALIPSO and a satellite simulator. JpGU meeting 2018 in Chiba, Japan, 21-24 May 2018.
99. Roh, W., Seiki, T., Satoh, M., Hashino T. 2018: Evaluations of Mixed-Phase Clouds over the Southern Ocean in NICAM Using Joint Simulator. 15th Conference on Cloud Physics/15th Conference on Atmospheric Radiation in Vancouver, Canada, 8-14 July 2018.
100. Roh, W., Seiki, T., Satoh, M., Hashino T. 2018: Evaluations of super-cooled water clouds in NICAM using Joint simulator. NICAM developer meeting 2018 in 玉原国際セミナーハウス, 9-10 Oct. 2018.
101. Roh, W., Satoh, M., 2018: Numerical study on cloud systems using NICAM. NIES supercomputer workshop 2018 in Tsukuba, Dec. 26, 2018.
102. Saito, F. 2018: Development of a parallel spherical harmonic transform library: design and performance (preliminary), JpGU 2018, Chiba, Japan, May 20, 2018.
103. Satoh, M., 2018: High Cloud Variations and Responses to Global Warming in the NICAM AMIP Experiment. Atmospheric Sciences Colloquium, University of Washington, June 1, 2018.
104. Satoh, M., Y. Yamada, and T. Ishiyama, 2018: Stochastic response of tropical cyclone activities revealed by ensemble simulations with NICAM: Similarities and differences under the super El Nino conditions, 1997 and 2015. Workshop on Multi-Scale Modeling of Atmospheric Processes, Guangzhou, China, March 19-21, 2018.
105. Satoh, M., W. Roh, T. Hashino, 2018: Evaluations and improvements of global cloud resolving models using high-resolution satellite data using simulators. European Geosciences Union General Assembly 2018, Vienna, Austria, April 8-13, 2018.
106. Satoh, M., C. Kodama, T. Ohno, A. Noda, H. Yashiro, Y. Yamada, M. Nakano, T. Seiki, T. Nasuno, Y.-W. Chen, T. Miyakawa, M. Sugi, and W. Roh, 2018: High-resolution climate simulations using the Non-hydrostatic Icosahedral Atmospheric Model, NICAM. European Geosciences Union General Assembly 2018 Vienna, Austria, April 8-13, 2018.
107. Satoh, M., 2018: Recent outcomes of the Non-hydrostatic Icosahedral Atmospheric Model NICAM for global simulations of multi-scale convective systems. Understanding and Modelling Atmospheric Processes, The 2nd Pan-GASS meeting, Lorne, Victoria, Australia, February 26 – March 2, 2018.
108. Satoh, M., and B. Stevens, 2018: Project DYAMOND 'DYNAMICS of the Atmospheric general circulation Modeled on Non-hydrostatic Domains' for high resolution (< 5 km) global model intercomparison. The 3rd International Workshop on “Climate Change and Precipitation in the East Asia”, Garden City Ochanomizu, Tokyo, 22-23 February 22-23, 2018.
109. 佐藤 正樹, 2018: 全球非静力学モデル NICAM による上層雲の変化と温暖化応答. 基本場と擾乱から見た大気-海洋-陸面の相互作用, 東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター共同利用研究集会. 平成 30 年 8 月 27 日.
110. Satoh, M., 2018: Introduction to Global Cloud Resolving Models. 2018 LASG Summer School on Climate System Model Development and Application. Institute of Atmospheric Physics, Chinese Academy of Sciences, July 12-16, 2018.
111. Seiki, T., C. Kodama, M. Satoh, T. Hashino, Y. Hagihara, H. Okamoto, 2018: Topographic effects on ice clouds evaluated by CloudSat and CALIPSO satellite observations and a high-resolution global non-hydrostatic model, Japan Geoscience Union Meeting 2018, Makuhari, Japan, May 20-24, 2018.
112. Seiki, T., C. Kodama, M. Satoh, T. Hashino, Y. Hagihara, H. Okamoto, 2018: Topographic effects on ice clouds evaluated by CloudSat and CALIPSO satellite observations and a high-resolution global non-hydrostatic model, AOGS 15th annual meeting 2018, Honolulu, USA, June 3-8, 2018.
113. Seiki, T., W. Roh, 2018: Ice cloud modeling for simulating mixed-phase low-clouds, 5th International Workshop on Nonhydrostatic Models, Tokyo, Japan, Nov. 14-16, 2018.

114. 清木達也, Woosub Roh, 2018: 全球・領域実験併用のすゝめ ～普遍的な雲微物理の理解に向けて～、日本気象学会 2018 年度秋季大会、仙台、10 月 29-11 月 1 日.
115. Shibuya R., K. Sato, 2018: A study of the dynamical characteristics of inertia-gravity waves in the Antarctic mesosphere combining the PANSY radar and a non-hydrostatic general circulation model, 6th SPARC General Assembly, Kyoto, Oct. 2018.
116. Shibuya R., M. Satoh and C. Kodama, 2018: Preliminary results on the DYAMOND project, NHM workshop, Tokyo, Nov. 2018.
117. 澁谷亮輔, 佐藤薫, 高解像度観測と数値モデルを組み合わせた南極中間圏重力波の力学特性に関する研究, 日本気象学会秋季大会, 仙台, 2018 年 10 月.
118. 澁谷亮輔, 中野満寿男, 小玉知央, 那須野智江, 佐藤正樹, 宮川知己, 三浦裕亮, 2018: 全球雲システム解像モデル (NICAM)を用いた北半球夏季季節内振動 (BSISO)の予測可能性について, 熱帯気象研究会, 名古屋, 2018 年 9 月.
119. 庄司 悟, 岡粂 淳史, 芳村 圭, 2018: 気候プロキシを用いたデータ同化による千年紀気候復元, ACC29-10, JpGU2018, 幕張, 2018 年 5 月 22 日.
120. 庄司 悟, 岡粂淳史, 芳村 圭, 2018: 気候プロキシデータ同化における観測インパクトの時空間偏在性に関する考察, 第 63 回水工学講演会, 札幌, 2018 年 11 月 25-27 日.
121. Stevens B., M. Satoh, C. Bretherton, P. Neumann, D. Klocke, F. Judt, M. Khairoutdinov, C. Kodama, L. Kornbluh, S-J Lin, W. Putman, R. Shibuya, P.-L. Vidale, 2018: Early Results from the DYAMOND Global Cloud Resolving Model Intercomparison. 2018 CFMIP Meeting on Clouds, Precipitation, Circulation, and Climate Sensitivity. Mesa Lab, National Center for Atmospheric Research (NCAR), Boulder, CO, USA, October 16-19, 2018.
122. Suzuki, K., 2018: Process-oriented versus energy-based constraints on cloud microphysics: Implication for aerosol-cloud interactions. GEWEX Open Science Conference, Canmore, Canada, May 8, 2018.
123. Suzuki, T., 2018: Long Term Sea Level Rises until 2300 when Limiting Global Warming to below 1.5 degrees C, AGU Fall Meeting 2018, Washington D.C.
124. 多田真嵩, 芳村圭, 2018:水蒸気同位体データ同化による気象予測改善, AHW25-06, JpGU2018, 幕張, 2018 年 5 月 23 日.
125. 多田真嵩, 芳村圭, 2018:水蒸気同位体データ同化による気象予測改善に向けて, 気象学会 2018 年度秋季大会, 仙台, 2018 年 11 月 1 日.
126. Takasuka, D., Satoh, M., and Miyakawa, T., 2018: Influences of the SST distributions and moistening processes on the determination of the MJO initiation region, 日本地球惑星科学連合 2018 年大会, 千葉.
127. Takasuka, D., and Satoh, M., 2018: Moisture-Convection-Dynamical Feedback in Eastward Propagation of the Tropical Intraseasonal Variability in the NICAM Aqua-Planet Experiments, AOGS 15 th Annual Meeting, Hawaii.
128. 高須賀 大輔, 佐藤 正樹, 横井 覚, 2018: YMC-Sumatra 2017 で観測された 4-6 日周期の大气擾乱と MJO との関係, 日本気象学会 2018 年度秋季大会, 仙台.
129. 高須賀 大輔, 佐藤 正樹, 横井 覚, 2018: YMC-Sumatra 2017 で観測された 4-6 日周期の大气擾乱と MJO との関係, 第 10 回熱帯気象研究会, 名古屋.
130. Takasuka, D., Satoh, M., and Yokoi, S., 2018: Mixed Rossby-Gravity Waves Observed in YMC-Sumatra 2017 and Their Impacts on the MJO, AGU Fall Meeting 2018, Washington D.C.
131. Tatebe, H., Y. Tanaka, Y. Komuro, and H. Hasumi, 2018: Impact of deep ocean mixing on the climateic mean state in the Southern Ocean, 2nd international symposium on ocean mixing processes, AORI, Univ. of Tokyo, Kashiwa, November 4, 2018.
132. 建部洋晶, 田中祐希, 川崎高雄, 小室芳樹, 羽角博康, 2018: 気候モデルの典型系統誤差と海洋微細乱流との関連及びその含意, 日本海洋学会秋季大会, 東京海洋大学, 品川, 2018 年 9 月 28 日.

133. Watanabe, M., 2019: Global warming and extreme weather events. PyeongChang Forum, Pyeong Chang, Korea, February 14-15, 2019.
134. Watanabe, M., 2018: Weather and climate change attribution studies using GCMs. 2018 LASG Summer School on Climate System Model Development and Application, Beijing, July 12-16, 2018.
135. Watanabe, M., 2018: Low clouds linking equilibrium climate sensitivity to hydrological sensitivity. EGU2018, Vienna, April 6-9, 2018.
136. Watanabe, M., A. Yamamoto, H. Hajima, and H. Tatebe, 2018: Role of deep ocean mixing on global carbon cycle evaluated with an Earth system model, AGU fall meeting, Washington D.C., USA, December 14, 2018.
137. Watanabe, M., H. Tatebe, T. Suzuki, and K. Tachiiri, 2018: Impact of deep ocean mixing on transient climate response and steric sea level rise, 2nd international symposium on ocean mixing processes, AORI, Univ. of Tokyo, Kashiwa, November 4, 2018.
138. Yamada, Y., M. Satoh, M. Sugi, C. Kodama, A. T. Noda, M. Nakano, and T. Nasuno, 2018: Widening of tropical cyclone scale projected by multi-decadal experiments with a 14km-mesh global nonhydrostatic model. American Meteorological Society 33rd Conference on Hurricanes and Tropical Meteorology, Florida, U.S., April 13–21, 2018.
139. Yamada, Y., C. Kodama, M. Satoh, T. Ohno, A. T. Noda, H. Yashiro, M. Nakano, T. Seiki, T. Nasuno, Y.-W. Chen, T. Miyakawa, M. Sugi, and W. Roh, 2018: Performance of tropical cyclone activities simulated by NICAM for HighResMIP: Preliminary results. 2018 American Geophysical Union Fall Meeting, Washington D. C., U.S., December 9–14, 2018.
140. 山田洋平, 小玉知央, 佐藤正樹, 2018: NICAMを用いた熱帯低気圧の発生分布の再現性向上に向けた感度実験. 日本気象学会 2018 年春季大会, つくば, 2018 年 5 月 16–19 日.
141. 山田洋平, 小玉知央, 佐藤正樹, 2018: NICAM AMIP 型実験における台風の移動速度の将来変化. 日本気象学会 2018 年秋季大会, 仙台, 2018 年 10 月 29 日–11 月 1 日.
142. 山田洋平, 2018: HighResMIP の出力を用いた台風の構造の解像度依存性, 2018 年 NICAM 開発者会議, 玉原, 2018 年 10 月 9–10 日.
143. Yamagami, Y., 2018: Interannual variability of the Natal Pulse. Approaches for Hydrospheric-Atmospheric Environmental Studies in Asia-Oceania, Nagoya University, September 13, 2018.
144. 山上遥航, 東塚知己, Bo Qiu, 2018: アガラス海流蛇行の発生力学とその経年変動. 2018 年度日本海洋学会秋季大会, 東京, 2018 年 9 月 27 日.
145. 吉兼 隆生, 芳村 圭, 2018: モデル降水バイアス低減手法の開発, AHW22-04, JpGU2018, 幕張, 2018 年 5 月 23 日.
146. 吉兼 隆生, 芳村圭, 2018: 機械学習を用いた局地降水予測, 水文水資源学会 2018 年度研究発表会, 三重, 2018 年 9 月 12 日.
147. Yoshimura, H., A. Wada, M. Nakano, R. Onishi, M. Nakagawa, T. Nasuno, M. Sugi, M. Sawada, K. Goto, K. Sakauchi, 2018: Development of nonhydrostatic Double Fourier Series global spectral Model (DFSM) and Global 7km mesh Model Intercomparison Project for improving TYphoon forecast (TYMIP-G7), Tokyo, Japan.
148. 吉村裕正, 中川雅之, 和田章義, 入口武史, 山口宗彦, 沢田雅洋, 杉正人, 川合秀明, 新藤永樹, 中野満寿男, 那須野智江, 大西領, 川原慎太郎, 瀧上弘光, 後藤浩二, 坂内健大, 松本圭太, 2018: 複数の次世代非静力学モデルを用いた高解像度台風予測実験複数の次世代非静力学モデルを用いた高解像度台風予測実験, 平成 29 年度地球シミュレータ利用報告会, 東京, 2018 年 4 月 19 日.
149. Yoshimura, K., 2018: Data Assimilation of Water Isotope Information for Constraining Hydrometeorological Processes, IG25-A009, AOGS2018, Honolulu, June 8, 2018.
150. 芳村圭, 2018: 短寿命気候汚染物質による水ストレス・洪水暴露人口への影響, 気象学会 2018 年度秋季大会, 仙台, 2018 年 10 月 29 日.